

OANDA FIX 仕様説明書

OANDA fxTrade および fxTrade Practice FIX サーバ仕様書 バージョン 2.3.20
FIX プロトコル バージョン 4.2 および 4.4 対応

最終更新日 : 2015 年 1 月 8 日

目次

| | |
|---|----|
| はじめに | 3 |
| 最新情報..... | 3 |
| FIX とは? | 3 |
| FIX メッセージの仕組み | 3 |
| 要件 | 4 |
| OANDA の FIX プロトコル・コンプライアンス | 4 |
| サポートされているメッセージタイプ | 5 |
| 本仕様説明書内の例について | 6 |
| OANDA FIX サーバ 一般指針 | 7 |
| テクニカルサポート | 7 |
| 時刻の同期 | 7 |
| コネクション型セッション | 7 |
| 個別レートおよび注文の通信 | 7 |
| 24 時間取引セッション | 9 |
| サポートされている注文タイプ | 9 |
| OANDA トランザクション・チケットへの FIX 注文のマッピング | 10 |
| 市場の厚み | 10 |
| 口座管理 | 11 |
| ヘッダおよびトレーラ | 12 |
| 管理メッセージ | 14 |
| Logon (アウトバウンド、インバウンド) <A> | 14 |
| News (インバウンド) | 15 |
| Logout (アウトバウンド、インバウンド) <5> | 17 |
| クライアント・リクエスト (アウトバウンド) | 19 |
| New Order – Single (アウトバウンド) <D> | 19 |
| Order Cancel / Replace Request (アウトバウンド、インバウンド) <G> | 24 |
| Order Cancel Request (アウトバウンド) <F> | 27 |
| Order Status Request (アウトバウンド) <H> | 29 |
| Market Data Request (アウトバウンド) <V> | 31 |
| サーバ・レスポンス (インバウンド) | 36 |
| Execution Report (インバウンド) <8> | 36 |
| Order Cancel Reject (インバウンド) <9> | 39 |
| Reject (インバウンド) <3> | 43 |
| Business Message Reject (インバウンド) <j> | 44 |
| Market Data - Snapshot/Full Refresh <W> | 44 |
| Market Data - Incremental Refresh <X> | 45 |
| Market Data Request Reject <Y> | 48 |
| 付録：FIX データタイプ | 50 |
| 付録：FIX メッセージタイプ | 51 |
| 補遺：法人のお客様向け追加機能 | 52 |
| 即時約定注文タイプの制限 | 52 |
| 変動する流動性 | 52 |
| バリュエーション | 52 |
| 換算率報告 | 54 |

はじめに

本仕様説明書は、現行版 OANDA FIX サーバの動作を取りまとめたもので、その取り扱い並びに本サービスを通して取引を行う方法を説明するものです。

最新情報

注：通常、新しいバージョンのサーバは、最初に fxTrade Practice で展開され、その後の週に fxTrade に展開されます。

バージョン 2.3 :

³⁵/₁₇ バージョン 2.3 は、クライアントに、より迅速にマーケットデータを提供します。

³⁵/₁₇ クライアントの設定を、業界標準の個別レートおよび注文の通信へと移行することをお勧めします。

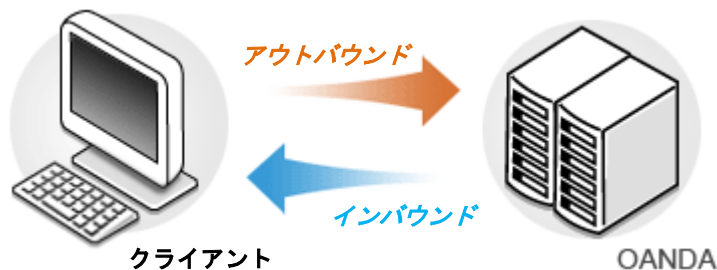
FIX とは？

FIX (Financial Information eXchange : 金融情報交換) プロトコルは、財務データや取引に関連するメッセージを電子的にやり取りするための一連のメッセージ仕様です。世界中の銀行やブローカー、取引所、機関投資家、情報技術 (IT) プロバイダの協力によって開発され、メッセージ仕様の標準として世界的に認められています。

OANDA fxTrade は、FIX プロトコル バージョン 4.2 および 4.4 に対応しています。FIX 4.2 および FIX 4.4 公式仕様書並びに推奨ベストプラクティス資料を、<http://www.fixprotocol.org/> でダウンロードし、参照することをお勧めします。(注：当ウェブサイトは、Internet Explorer バージョン 5 などの特定のブラウザにのみ対応しています。)

FIX メッセージの仕組み

クライアント・マシンは、FIX メッセージを OANDA サーバに送信します (以降、本仕様説明書ではこれを、クライアントからサーバに送り「出す」メッセージを意味する **アウトバウンド**・メッセージと呼びます)。その後、サーバからクライアントに「入ってくる」メッセージを意味する **インバウンド**・メッセージを、サーバがクライアント・マシンに返します。

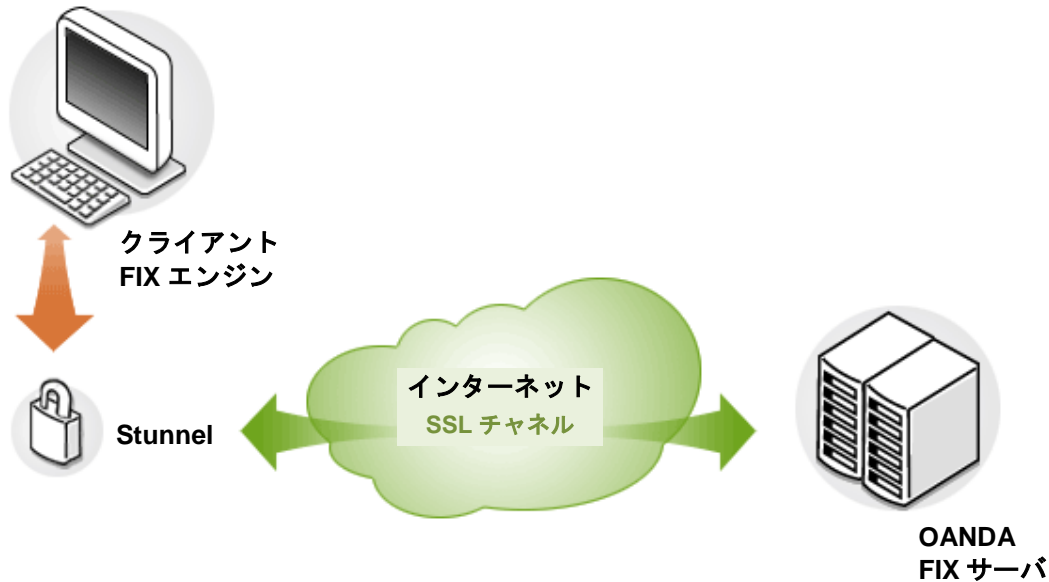


FIX セッションは、Logon メッセージで開始されなければなりません (Logon セッションは、クライアント・マシンが、事前に決められた間隔でハートビート・メッセージを送信し続ける限り維持されます)。

暗号化

OANDA FIX サーバは、通信秘密保全のため SSL 暗号化通信のみを受け入れます。SSL 接続を提供しない FIX エンジンをご利用のお客様は、Stunnel を使用することができます。Stunnel は、トネリング用のプロキシソフトウェア・パッケージで、通信を OANDA FIX サーバに向けて SSL 暗号化します。

下記の概要図は、FIX メッセージが Stunnel を使用してどのように暗号化され、クライアントとサーバの間で送受信されるかを示しています：



要件

OANDA サーバに FIX メッセージを送信するには、以下の要件を満たしている必要があります：

OANDA Japan との API 契約に合意すること。

ご使用の FIX エンジンが SSL 対応でない場合、システムに SSL 暗号化トネリング・ソフトウェア（Stunnel 等）をインストール、設定すること。設定の詳細は、登録時に提供されます。

弊社サーバと通信するために、お使いのシステムで FIX エンジンが使用できること。

OANDA の FIX プロトコル・コンプライアンス

OANDA fxTrade FIX サーバは、公式 FIX プロトコル・リミテッドの FIX 4.2 および FIX 4.4 仕様、並びに公表されている FIX ベストプラクティスに、実践できる限り厳密に従うように設計されています。相違点または注釈項目はすべて、本仕様説明書内に示されています。

本仕様説明書の読者は、FIX プロトコル・リミテッドのウェブサイト <http://fixprotocol.org/> で、公式仕様書とベストプラクティス資料を参照することをお勧めします。

サポートされているメッセージタイプ

OANDA FIX サーバは、以下の FIX アウトバウンドおよびインバウンド・メッセージに対応しています。

アウトバウンド・メッセージ（クライアントからサーバへ）

| サポートされているメッセージ <MsgType>（クライアントから） | サーバ・レスポンス |
|---------------------------------------|--|
| Logon <A> | Logon <A>, Reject <3> |
| Logout <5> | Logout <5> |
| Heartbeat <0> | Heartbeat <0> |
| New Order - Single <D> | Execution Report <8> |
| Order Cancel Request <F> | Execution Report <8>, Order Cancel Reject <9> |
| Order Cancel / Replace Request <G> | Execution Report <8>, Order Cancel Reject <9> |
| Order Status Request <H> | Execution Report <8> |
| Market Data Request <V> | Market Data - Snapshot / Full Refresh <W>, Market Data - Incremental Refresh <X>, Market Data Request Reject <Y> |

インバウンド・メッセージ（サーバからクライアントへ）

| サポートされているメッセージ <MsgType>（サーバから） | 以下のクライアント・メッセージへのレスポンス： |
|--|--|
| Logon <A> | Logon <A> |
| News | Logon <A> |
| Logout <5> | Logout <5> |
| Heartbeat <0> | Heartbeat <0> |
| Execution Report <8> | New Order - Single <D>, Order Cancel Request <F>, Order Cancel / Replace Request <G>, Order Status Request <H> |
| Order Cancel Reject <9> | Order Cancel Request <F>, Order Cancel / Replace Request <G> |
| Reject <3> | 間違ったシンタックスによるクライアント・メッセージ |
| Business Message Reject <j> | ビジネス要件を満たしていないクライアント・メッセージ (ただし、正しいシンタックス)。 |
| Market Data - Snapshot/Full Refresh <W> | Market Data Request <V> |
| Market Data - Incremental Refresh <X> | Market Data Request <V> |
| Market Data Request Reject <Y> | Market Data Request <V> |

本仕様説明書内の例について

本仕様説明書に掲載されている例は、読みやすくするために体裁を整えてあり、公式 FIX プロトコル仕様で要求される順序または様式を反映したものではありません。特に、例は表形式にしてあり、使用されていないフィールド名も含まれています。

例えば、本仕様説明書の最初に例示されたコードは「クライアント・アウトバウンド・リクエスト（有効なログオン）」では、以下のようにコーディングされます（ここでは、SOH はスペースで表されています）：

```
8=FIX.4.4 9=91 35=A 34=1 49=testusr4109 52=20101124-20:27:25.000 56=OANDA 98=0 108=300  
141=Y 554=PasswOrd 10=133
```

OANDA FIX サーバ 一般指針

テクニカルサポート

ご質問およびテクニカルサポートは、OANDA Japan カスタマサポートセンター support@oanda.jp にご連絡ください。

チームが迅速に対応できるよう、サポートリクエストでは以下の情報をお知らせください：

ログオン・レスポンス後すぐに送信される Newsメッセージ内で通知される完全なバージョン文字列。

懸案の FIX メッセージのタイムスタンプ付きローカルログの詳細テキストファイル。

時刻の同期

時刻が同期されていない場合、タイミングの問題が発生する可能性があることにご注意ください。OANDA サーバは、受信したメッセージの SendingTime が 15 秒より前の場合、SessionRejectReason <373> = 10 "SendingTime<52>精度問題"により、Reject<3>するように設定されています。

このメッセージを受信した場合、適切に設定された NTP サービス経由でクライアント FIX エンジンのホストクロックが同期されているかを、システム・アドミニストレータに確認してください。

コネクション型セッション

現行版 OANDA FIX サーバは、インターネットサービス・スタイルのコネクション型動作に従います。各通信は、その通信が続いている間、それぞれ個別のセッションを確立します。

コネクション型セッションの影響には、以下が含まれます：

OANDA サーバが、アクセプタとしてのみ作動する。

すべての Logon<A>メッセージで、ResetSeqNumFlag <141> = Y が要求される。メッセージ返信はサポートされません (Resend Request<2>および Sequence Reset<4>)。

切断時に出した注文は、次回接続時に自動的に通信されません。代わりに、再接続時に Order Status Request<H>を使用して、切断時に状況が更新されている可能性のある未処理注文を含めたすべての注文の情報を問い合わせてください。

個別レートおよび注文の通信

バージョン 2 サーバは、お客様 1 人当たり複数の通信をサポートします。

すべての通信で、OANDA ログイン・ユーザーネームを SenderCompID <49>値として使用します。

この通信でのすべてのメッセージの TargetSubID <57> = **RATES** を指定することにより、レート・セッションが確立します。これらの通信は、最新の価格更新を提供する専用のマーケットデータ・サーバに送られるため、ここでは注文処理できません。

注文セッションは、通信時にすべてのメッセージの TargetSubID<57>タグを省略することによ

OANDA FIX 仕様説明書

て確立します。注文はすべて、注文サーバ通信で出されなければなりません。

マーケットデータの受信に注文サーバ通信を使用しているお客様は、この機能が間もなく停止になることをご了承ください。

FIX 4.2 および FIX 4.4 の両セッションからの同時通信に対応しています。一部のメッセージ・フォーマットが異なる点（例、Execution Report）、および一部注文タイプが指定できない点（例、FIX 4.2 セッションの OrdType=J）にご注意ください。

ユーザー向け非同期注文通知（デイオーダーおよび GTD オーダーの約定並びに有効期限）は、現行の注文サーバ通信で配信します。

24 時間取引セッション

OANDA システムは、24 時間連続で取引セッションを稼働しています。お客様は、取引のある週の間、いつでも通貨取引を行うことができます。

午後 5:00 から少なくとも 5 分前に出したデイオーダーは、北米東部標準時午後 5:00（UTC - 0500、ただしサマータイム期間中は UTC - 0400）まで有効です。締め切り時間である午後 4:55 以降に出したデイオーダーは、翌暦日の午後 5:00 まで有効です。

システム・メンテナンスは、通常金曜日のマーケット・クローズ後の北米東部標準時午後 5 時から行われ、このメンテナンス中は取引できません。

サポートされている注文タイプ

即時執行注文タイプ

マーケットオーダー

マーケットオーダーとは、ある通貨ペアの特定数の売買注文を、OANDA サーバが注文を受けた時点の相場で行うことです。OANDA FIX マーケットオーダーは、TimelnForce<59>または Price<44>タグ無しで出されます。

フィル・オア・キル（FOK）注文、IOC（Immediate-or-Cancel）注文

注文を受けた時点で相場と数量の条件が満たされている場合、TimelnForce FOK 注文は即時執行されます。条件に満たない場合は、注文はすべて取り消されます。価格条件を満たしている場合、TimelnForce IOC 注文は、執行可能な数量を限度に即時執行され、残りの数量はキャンセルされます。FOK 注文並びに IOC 注文は常にリミットまたはストップオーダーであるため、Price <44> または StopPx <99>タグが適宜要求されます。

価格条件付注文タイプ

スタンダード・リミットオーダー

スタンダード・リミットオーダーは、指値またはそれを上回る値段で、ある通貨ペアの特定の数量の取引を要求するものです。注文を受けた時点の相場がすでに指値より良い場合、注文は即時約定します。そうでない場合、価格条件が満たされるまで注文の執行を待つ、もしくは注文の有効期限が終了します。

フィル・オア・キル（FOK）または IOC を要求するスタンダード・リミットオーダーは、前節の説明のように動作します。

スタンダード・ストップオーダー

スタンダード・ストップオーダーは、指値またはそれ以下で、ある通貨ペアの特定の数量の取引を要求するものです。相場がすでに指値を下回る場合、注文は約定します。そうでない場合、

価格条件が満たされるまで注文の執行を待つ、もしくは注文の有効期限が終了します。

フィル・オア・キル (FOK) または IOC を要求するスタンダード・ストップオーダーは、前節の説明のように動作します。

マーケット・イフ・タッチド注文

(この注文タイプは、OANDA の他の API およびグラフィック・インターフェースでは「リミットオーダー」と呼ばれています。)

マーケット・イフ・タッチド注文は、相場が指値に達したときに、ある通貨ペアの一定数量の取引を要求するものです。注文を受けた時点の相場がちょうど指値である場合、注文は即時約定します。そうでない場合、相場が指値に達する／超えるまで注文の執行を待つ、もしくは注文の有効期限が終了します。

マーケット・イフ・タッチド注文は、OANDA の公表する価格で執行します。相場が指値を超えたため、待機中のマーケット・イフ・タッチド注文が出された場合、指値を超えた後の最初の相場で約定します。

マーケット・イフ・タッチド注文は、FOK または IOC を要求されません。
マーケット・イフ・タッチド注文は、FIX.4.4 セッションでのみ発注できます。

OANDA トランザクション・チケットへの FIX 注文のマッピング

FIX サーバは FIX プロトコル経由で出された注文を処理しますが、その結果は OANDA サーバで行われ、OANDA プロトコルに従いお客様の OANDA 口座を更新します。これらのプロトコルと注文モデルは、互いに異なるため、FIX サーバによって戻された OANDA トランザクション・チケットは、お客様の元の FIX リクエストとは異なることがあります。

FIX リクエスト経由で行われた行為は、通常お客様の口座の OANDA トランザクション・チケットになりますが、そのマッピングは常に 1 対 1 ではありません。特に：

FIX インターフェースで用いられる ClOrdID<11>はトランザクション履歴に記録されません。

1 件の FIX リクエストの実行に対し、チケットが複数ある場合があります。注文追跡の助けとして、Execution Report は OANDA トランザクション ID (s) : [list] フォームの Text<58>フィールドにテキストを収録します。ここでは、[list] はカンマで区切られたチケット番号範囲のリストになっています。例えば、21, 22, 23, 26, 27, そして 30 のチケットは、21-23, 26-27, 30 として表示されます。"none" という文字列は、対象とする注文に対応する OANDA チケットがない場合に使用されます。

fxTrade Practice または fxTrade GUI アプレット経由で表示されるリミットおよびストップ FOK または IOC 注文が、代わりに BuyMarket または SellMarket のトランザクションとして表示されることがあります。

市場の厚み

OANDA fxTrade 取引システムは、個々の取引に最大取引サイズを課します。その結果、システムは、最大取引サイズをそのまま取引可能数量とする、1 つのレベルの市場の厚みしかないかのように動作します。

最大取引サイズは、Market Data Snapshot / Full Refresh <W> および Market Data Incremental Refresh <X> メッセージの MDEntrySize タグで指定されます。注文の前に、公表された最新の各通貨ペアの MDEntrySize を確認し、その数量の執行が可能かを確かめることをお勧めします。

記述時の OANDA 取引システムの最大取引サイズは以下のとおりです
 (流動性の制約のため、これらの最大サイズが常に可能であるとは限りません。) :

| ペア | 最大単位 |
|-------------|------------|
| XAG/USD | 100 000 |
| XAU/USD | 5 000 |
| その他取引可能な全ペア | 10 000 000 |

(より多くの数量を取引するには、複数の取引を行うようにユーザーにお勧めしています。)

執行可能な数量より大きい OrderQty で出された注文は、それぞれの注文タイプに応じて処理されます :

| 注文タイプ | 結果 | 注記 |
|--------|---------------------------------------|------------------|
| FOK 注文 | OrdStatus=CANCELED CumQty=0 | 全て約定されない |
| IOC 注文 | OrdStatus=CANCELED CumQty= [可能な数量] | 可能な数量まで部分的に約定される |
| その他すべて | 拒否 | 注文は即座に拒否される |

口座管理

OANDA FIX サーバは、いかなる口座状況リクエストにも対応していません。口座残高、オープン・ポジション、マージン・エクスポージャー、P/L 番号、その他をご覧になるには、グラフィカル・インターフェース (GUI) にログインするか、fxTrade ウェブサイトにアクセスしてください。

FIX インターフェースを通して出されたすべての注文は、FIX インターフェースを通して修正または取り消されなければなりません。現在弊社では、FIX からの注文のエントリと、GUI からの修正または調整には対応していません。

OANDA FIX サーバは、グラフィカルまたは専有 API インターフェース経由で入力した注文の執行報告のドロップ・コピーを提供していません。

価格の急騰により誤って約定した取引の調整または訂正は、FIX サーバからは報告されません。これらの訂正の通知は E メールによって行われます。

ヘッダおよびトレーラ

すべての FIX メッセージは、ヘッダフィールドで始まり、トレーラ<10>フィールドで終わらなければなりません。

ヘッダフィールド

以下のフィールドは、すべての FIX メッセージで最初にこななければなりません：

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | OANDA で必須 | タイプ (値) | コメント |
|----|--------------|-------------|--------------|--|---|
| 8 | BeginString | Y | Y | string, "FIX.4.2" または "FIX.4.4" | 新しいメッセージの始まりとプロトコルのバージョンを識別。FIX メッセージでは常に最初のフィールドでなければならず、常に暗号化されない。 |
| 9 | BodyLength | Y | Y | int | Checksum <10> フィールドに転送されるメッセージの長さ (バイト)。メッセージでは常に 2 番目のフィールドで、常に暗号化されない。 |
| 35 | MsgType | Y | Y | string | 具体的なメッセージタイプ (MsgType) を定義。メッセージでは常に 3 番目のフィールドで、常に暗号化されない。 サポートされているメッセージタイプのリストは次節参照。 |
| 49 | SenderCompID | Y | Y | string | メッセージの送信者を識別するために付与される値。 アウトバウンド・メッセージには : OANDA ログインユーザーID (インバウンド・メッセージの値は "OANDA") |
| 56 | TargetCompID | Y | Y | string | メッセージの送信先を識別するために付与される値。 アウトバウンド・メッセージには : "OANDA" (インバウンド・メッセージは、ログインユーザーIDを使用) |
| 34 | MsgSeqNum | Y | Y | int | 整数のメッセージ・シーケンス番号 |
| 52 | SendingTime | Y | Y | UTC Timestamp | メッセージ送信の時刻 (常に UTC (協定世界時、または 'GMT') で表示 |
| 57 | TargetSubID | N | N | string | レートサブスクリプションとスナップショットのみを意図したアウトバウンド・セッション用。 OANDA のレートに最短の待ち時間でのアクセスを提供するリソースに、そのセッションのルーティングを行う |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|----------------------|
| | | | | | ために、"RATES" 値の使用を推奨。 |
|--|--|--|--|--|----------------------|

トレーラフィールド

以下のフィールドが、FIX メッセージの終りにこなければなりません。

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | OANDA で必須 | タイプ (値) | コメント |
|----|----------|-------------|--------------|----------------|--|
| 10 | Checksum | Y | Y | 3 文字 string | 3 バイトの単純チェックサムがメッセージの終りの区切り文字として (トレーリング<SOH>とともに) 機能する。常に 3 文字で定義される。 |

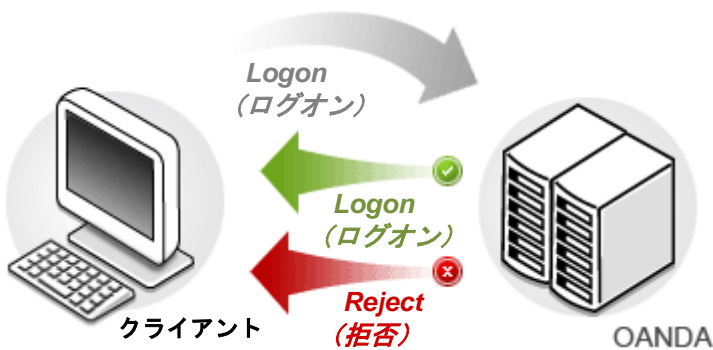
管理メッセージ

Logon (アウトバウンド、インバウンド) <A>

Logon<A>メッセージは、ユーザー認証を行い、セッションを開始します。どのアプリケーションからでも、これがFIXセッション開始リクエストを送信する最初のメッセージでなければなりません。

Logon メッセージの受信をもって、OANDA サーバは接続を要求している関係者を認証し、接続要求が許可されたことの確認応答として Logon メッセージを発します。開始者は、この確認応答 Logon をもって、適正な関係者との接続が確立したことを確認することができます。

サーバが Logon リクエストを認証できない場合、Logout<5>または Reject<3>メッセージを返す、またはサービス拒否 (DoS) 攻撃に対する予防措置として全く応答しないこともあります。



注記

ログオンには、ResetSeqNumFlag=Y が使用されなければなりません。

HeartBtInt<108>フィールドは、ハートビート・メッセージを生成するためのタイムアウト・インターバルを宣言します (同じインターバルが両方の側で使用されます)。このフィールドは、Logon リクエストに含まれている必要があり、OANDA サーバからの Logon メッセージにも繰り返されなければなりません。HeartBtInt の値は、少なくとも 30 秒必要で、推奨 HeartBtInt 値は 300 秒 (5 分) です。

フィールド <A>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ (値) | コメント |
|----|-----------------|---------|-----------|----------|----------------------------------|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド参照 。 |
| 98 | EncryptMethod | Y | Y | char "0" | MsgType = A 暗号化方法。(常に暗号化されない) |

| | | | | | |
|-----|-----------------------------------|---|---|---------|--|
| | | | | | 有効値： 0 = なし/その他 |
| 108 | HeartBtInt | Y | Y | int | Heartbeat <0> インターバル（秒）。 Heartbeat <0> メッセージは、このタイムインターバル時に FIX ソフトウェアによって自動送信される。 推奨値：300 |
| 141 | Logon Password ResetSeqNumFlag | N | Y | Boolean | 下記参照。 FIX セッションの両方の側がシーケンス番号をリセットすべきであることを示す。 有効値： Y = Yes、シーケンス番号をリセット |
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド 参照 |

FIX 4.2 セッションで、ログオン・パスワード付与に使用されるフィールドは以下のとおりです：

| | | | | | |
|----|---------------|---|---|--------|------------------------------|
| 95 | RawDataLength | N | Y | length | ローデータフィールド内のバイト数 |
| 96 | RawData | N | Y | data | 未フォーマットのローデータ、ログオン・パスワードを含む。 |

FIX 4.4 セッションで、ログオン・パスワード付与に使用されるフィールドは以下のとおりです：

| | | | | | |
|-----|----------|---|---|--------|------------|
| 554 | Password | N | Y | string | ログオン・パスワード |
|-----|----------|---|---|--------|------------|

FIX.4.4 セッションでは、Username<553>タグは使用されない点にご注意ください。タグ 553 で提供される値はいずれも無視されます。代わりに、SenderCompID がログイン・ユーザーネームを決めるために使用されます。

ログオンに成功すると、サーバは OANDA FIX サーバ情報とともに Newsメッセージを送信します。

News (インバウンド)

Newsメッセージはサーバから返されるメッセージで、動作変更または近日中のリリースに関する重要な情報を提供します。

このメッセージに表示されるバージョン番号は、番号のみで表され、ピリオドで区切られています（例、"version: 2.2"）。バージョンのアップデートは、ご利用規約の修正を含む場合があります、それに従い顧客プログラムの変更が必要になる場合があります。

フィールド

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ (値) | コメント |
|-----|------------------|-------------|------------|--|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照 |
| 148 | Headline | Y | string | MsgType = B “OANDA FIX サーバ情報” |
| 33 | LinesOfText | Y | int | 続く Text <58> タグの数を示す。 |
| 58 | Text | Y | string | 以下のフォーマットを使用する： キーワード: 値 キーワード： ³⁵ ₁₇ “version”—OANDA FIX サーバの現行バージョン を示す ³⁵ ₁₇ “notice”—注目すべき重要情報を提供 ³⁵ ₁₇ “warning”—後方互換性の懸念などの問題を明示 的に警告 |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

クライアント・アウトバウンド・リクエスト（有効なログオン）：

```

+-HEADER
|      8 BeginString      = FIX.4.4
|     35 MsgType          = Logon (A)
|     34 MsgSeqNum        = 1
|     49 SenderCompID     = testusr4109
|     52 SendingTime      = 20101124-20:27:25.000
|     56 TargetCompID     = OANDA
+-BODY
|     98 EncryptMethod     = NONE_OTHER (0)
|    108 HeartBtInt        = 300
|    141 ResetSeqNumFlag   = Y
|    554 Password          = Passw0rd
+-TRAILER
|     10 CheckSum          = 133
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス：

サーバは、ログオン・レスポンスおよびニュース・メッセージを送信します。

```

+-HEADER
|      8 BeginString      = FIX.4.4
|      9 BodyLength       = 74
|     35 MsgType          = Logon (A)
|     34 MsgSeqNum        = 1
|     49 SenderCompID     = OANDA
|     52 SendingTime      = 20101124-20:27:25
|     56 TargetCompID     = testusr4109
+-BODY

```


OANDA FIX 仕様説明書

```
|    98 EncryptMethod = NONE_OTHER (0)
|    108 HeartBtInt   = 300
|    141 ResetSeqNumFlag = Y
+-TRAILER
|    10 CheckSum      = 216
+=====

+-HEADER
|    8 BeginString    = FIX.4.4
|    9 BodyLength     = 124
|   35 MsgType        = News (B)
|   34 MsgSeqNum      = 2
|   49 SenderCompID   = OANDA
|   52 SendingTime    = 20101124-20:27:25
|   56 TargetCompID   = testusr4109
+-BODY
|   33 LinesOfText    = 1
|  148 Headline       = OANDA FIX Server Information
+-LinesOfText-Member-0
|   58 Text           = version: 2.2
+-TRAILER
|   10 CheckSum       = 255
+=====
```

クライアント・アウトバウンド・リクエスト（間違ったパスワード）：

```
+-HEADER
|    8 BeginString    = FIX.4.2
|   35 MsgType        = Logon (A)
|   34 MsgSeqNum      = 7
|   49 SenderCompID   = testusr
|   52 SendingTime    = 20090605-14:37:48.000
|   56 TargetCompID   = OANDA
+-BODY
|   95 RawDataLength  = 10
|   96 RawData        = wrongwrong
|   98 EncryptMethod  = NONE_OTHER (0)
|  108 HeartBtInt     = 300
|  141 ResetSeqNumFlag = YES_RESET_SEQUENCE_NUMBERS (Y)
+-TRAILER
|   10 CheckSum       = 240
+=====
```

サーバ・インバウンド・レスポンス：

サーバは、セキュリティ対策として一切応答しません。

Logout（アウトバウンド、インバウンド）<5>

Logout<5>メッセージは、FIX セッションの停止を開始または確認します。Logout メッセージのやり取りをせずに接続解除されたセッションは、（ネットワーク障害などの）異常状態として解釈されなければなりません。

セッションを終了する前に、クライアントは OANDA サーバが確認のための Logout メッセージを返すまで待たなければなりません。これにより、サーバは最後の操作を完了することができます。

フィールド <5>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ | コメント |
|----|------------------|---------------|--------------|--------|--|
| 58 | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド参照 |
| | Text | N (インバウンド) | | string | MsgType = 5 サーバから返される説明文 (例、"Rejected" (拒否)) |
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド参照 |

例

クライアント・アウトバウンド・リクエスト :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.4
|   35 MsgType         = Logout (5)
|   34 MsgSeqNum      = 2
|   49 SenderCompID   = testusr4109
|   52 SendingTime    = 20101124-20:31:07.000
|   56 TargetCompID   = OANDA
+-BODY
+-TRAILER
|   10 CheckSum       = 019
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.4
|   9 BodyLength       = 88
|   35 MsgType         = Logout (5)
|   34 MsgSeqNum      = 3
|   49 SenderCompID   = OANDA
|   52 SendingTime    = 20101124-20:31:07
|   56 TargetCompID   = testusr4109
+-BODY
|   58 Text            = Thank you for choosing OANDA.
+-TRAILER
|   10 CheckSum       = 008
+=====

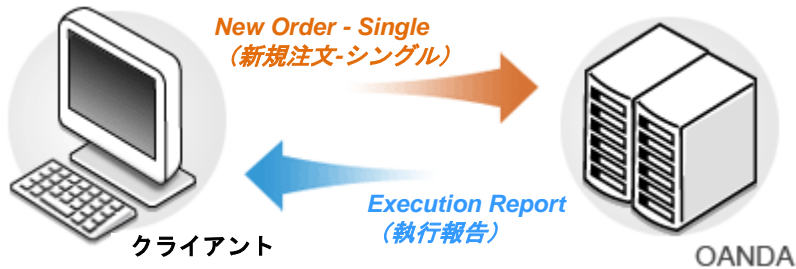
```

クライアント・リクエスト（アウトバウンド）

New Order – Single（アウトバウンド）<D>

New Order - Single<D>は、forex 注文を OANDA に出すためにクライアント側で使用されます。これは、Login<A> セッションが確立した後にのみ出すことができます。

OANDA サーバは、New Order - Single リクエストに対し、Execution Report<8>で応答します。このメッセージは、注文の執行が成功したかどうかの情報を提供します。



フィールド <D>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ | コメント |
|----|-----------------|----------------------------|----------------------------|--------|---|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド参照 MsgType = D |
| 11 | ClOrdID | Y | Y | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子。 |
| 1 | Account | N | Y | string | OANDA fxTrade または fxTrade Practice 口座番号。本仕様説明書で示される OANDA サーバへのアウトバウンド注文または取引リクエストに必要。 |
| 21 | HandlInst | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | "1" | ブローカー立会場の注文取扱説明。FIX 4.4 では、このフィールドがない場合、値は 1 として解釈される。 有効値： 1 = 自動執行注文、プライベート、ブローカー介入無し |
| 55 | Symbol | Y | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。 例、EUR/USD。 |
| 54 | Side | Y | Y | char | 注文サイド。 有効値： 1 = バイ 2 = セル |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|-----|------------------|---|--------------------------------|----------------------|---|
| 60 | TransactTime | Y | Y | UTC Time stamp | <p>執行/注文生成の時刻を UTC（協定世界時、または'GMT'）で表示。</p> <p>このフィールドのタイムスタンプにより、OANDA サーバは、注文の「ステール」の可能性を判断するために、ビジネスルールを適用することができる。 （例、通信問題発生時）。</p> |
| 38 | OrderQty | N | Y | qty | 注文されたユニット数。 |
| 40 | OrdType | Y | Y | char | <p>注文タイプ 有効値： 1 = マーケット 2 = リミット 3 = ストップ J = マーケット・イフ・タッチド （FIX 4.4 のみ）</p> |
| 44 | Price | N | Y リミットオーダーまたはマーケット・イフ・タッチド注文のみ | price | 値段 |
| 99 | StopPx | N | Y ストップオーダーのみ | price | 逆指値 |
| 59 | TimeInForce | N | N | char | <p>リミット、ストップ、またはマーケット・イフ・タッチド注文用。マーケットオーダーは無し。</p> <p>注文の有効期間を指定する。このフィールドがない場合は、デイとして解釈される。 有効値： 0 = デイ 3 = IOC 4 = フィル・オア・キル（FOK） 6 = GTD。（GTD 注文は、さらに ExpireDate <432> または ExpireTime <126>のいずれかを必要とする。）</p> <p>IOC および FOK は、リミットまたはストップオーダーのみ有効。</p> |
| 432 | ExpireDate | N | | LocalMkt Date | GTD 注文は、示された日付の東部標準時で現地午後 5 時（EDT または EST）にリクエストの有効期限が終了する。 |
| 126 | ExpireTime | N | | UTC Time stamp | GTD 注文は、示された協定世界時の日付と時刻ちょうどにリクエストの有効期限が終了する。 |
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

クライアント・アウトバウンド・リクエスト :

リミットオーダー（買い）、XAU/USD 7500 ユニット、指値 1500、IOC :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.4
|   9 BodyLength       = 138
|  35 MsgType          = NewOrderSingle (D)
|  34 MsgSeqNum        = 2
|  49 SenderCompID     = testusr4109
|  52 SendingTime      = 20101125-14:53:25.000
|  56 TargetCompID     = OANDA
+-BODY
|   1 Account          = 562121
|  11 ClOrdID          = limit_ioc_buy_gold_overlimit
|  21 HandlInst        = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE (1)
|  38 OrderQty         = 7500
|  40 OrdType          = LIMIT (2)
|  44 Price            = 1500
|  54 Side             = BUY (1)
|  55 Symbol           = XAU/USD
|  59 TimeInForce      = IMMEDIATE_OR_CANCEL (3)
|  60 TransactTime     = 20101125-14:52:49
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 157
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス :

OrderQty がそのシンボルの最大取引サイズを超えているため、5000 ユニットのみ約定 :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.4
|   9 BodyLength       = 352
|  35 MsgType          = ExecutionReport (8)
|  34 MsgSeqNum        = 3
|  49 SenderCompID     = OANDA
|  52 SendingTime      = 20101125-14:53:26
|  56 TargetCompID     = testusr4109
+-BODY
|   1 Account          = 562121
|   6 AvgPx            = 1373.517
|  11 ClOrdID          = limit_ioc_buy_gold_overlimit
|  14 CumQty           = 5000
|  17 ExecID           = T176342045
|  21 HandlInst        = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE (1)
|  31 LastPx           = 1373.517
|  32 LastQty          = 5000
|  37 OrderID          = 3561
|  38 OrderQty         = 7500
|  39 OrdStatus        = CANCELED (4)
|  40 OrdType          = LIMIT (2)
|  44 Price            = 1500
|  54 Side             = BUY (1)
|  55 Symbol           = XAU/USD
|  58 Text             = OrderQty <38> = 7500 exceeds maximum trade size for symbol.
OANDA transaction ID(s): 176342045.
|  59 TimeInForce      = IMMEDIATE_OR_CANCEL (3)
|  60 TransactTime     = 20101125-14:53:25
| 150 ExecType         = TRADE (F)
| 151 LeavesQty        = 0
| 461 CFICode          = MRCXXX
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 060
+=====

```

OANDA FIX 仕様説明書

クライアント・アウトバウンド・リクエスト :

マーケット・イフ・タッチド注文（買い）、USD/CAD 5 ユニット、値段 1.5

```
+--HEADER
|      8 BeginString      = FIX.4.4
|      9 BodyLength       = 113
|     35 MsgType          = NewOrderSingle (D)
|     34 MsgSeqNum        = 2
|     49 SenderCompID     = testusr4109
|     52 SendingTime      = 20101126-20:19:53.000
|     56 TargetCompID     = OANDA
+--BODY
|      1 Account           = 562121
|     11 ClOrdID           = mit_buy
|     21 HandlInst         = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE (1)
|     38 OrderQty          = 5
|     40 OrdType           = MARKET_IF_TOUCHED (J)
|     44 Price             = 1.5
|     54 Side              = BUY (1)
|     55 Symbol            = USD/CAD
|     59 TimeInForce       = DAY (0)
|     60 TransactTime      = 20101126-20:19:38
+--TRAILER
|     10 CheckSum         = 013
+=====
```

サーバ・インバウンド・レスポンス :

```
+--HEADER
|      8 BeginString      = FIX.4.4
|      9 BodyLength       = 259
|     35 MsgType          = ExecutionReport (8)
|     34 MsgSeqNum        = 3
|     49 SenderCompID     = OANDA
|     52 SendingTime      = 20101126-20:19:53
|     56 TargetCompID     = testusr4109
+--BODY
|      1 Account           = 562121
|      6 AvgPx            = 0
|     11 ClOrdID           = mit_buy
|     14 CumQty           = 0
|     17 ExecID           = T176342075
|     21 HandlInst         = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE (1)
|     37 OrderID          = 3576
|     38 OrderQty         = 5
|     39 OrdStatus        = NEW (0)
|     40 OrdType           = MARKET_IF_TOUCHED (J)
|     44 Price             = 1.5
|     54 Side              = BUY (1)
|     55 Symbol            = USD/CAD
|     58 Text             = OANDA transaction ID(s): 176342075.
|     59 TimeInForce       = DAY (0)
|     60 TransactTime      = 20101126-20:19:53
|    126 ExpireTime        = 20101126-22:00:00
|    150 ExecType         = NEW (0)
|    151 LeavesQty        = 5
|    461 CFICode          = MRCXXX
+--TRAILER
|     10 CheckSum         = 029
+=====
```

OANDA FIX 仕様説明書

クライアント・アウトバウンド・リクエスト :

リミットオーダー（買い）、EUR/USD 10 ユニット、値段 1.25、GTD 有効期限 20090725-12:34:56 (UTC) :

```
+--HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength      = 141
|  35 MsgType         = NewOrderSingle (D)
|  34 MsgSeqNum       = 171
|  49 SenderCompID    = testusr9
|  52 SendingTime     = 20091020-14:03:08.000
|  56 TargetCompID    = OANDA
+--BODY
|   1 Account          = 9
|  11 ClOrdID         = new_std_limit_order
|  21 HandlInst       = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  38 OrderQty        = 10
|  40 OrdType         = LIMIT (2)
|  44 Price           = 1.25
|  54 Side            = BUY (1)
|  55 Symbol          = EUR/USD
|  59 TimeInForce     = GOOD_TILL_DATE (6)
|  60 TransactTime    = 20091020-14:02:36
| 126 ExpireTime      = 20091025-12:34:56
+--TRAILER
|  10 CheckSum        = 029
+=====
```

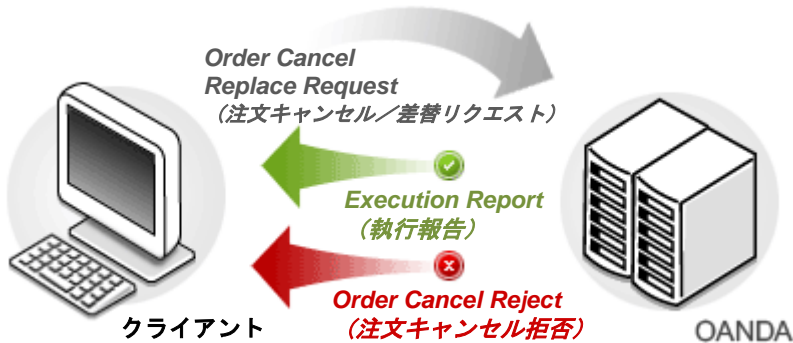
サーバ・インバウンド・レスポンス :

```
+--HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength      = 277
|  35 MsgType         = ExecutionReport (8)
|  34 MsgSeqNum       = 172
|  49 SenderCompID    = OANDA
|  52 SendingTime     = 20091020-14:03:09.024
|  56 TargetCompID    = testusr9
+--BODY
|   1 Account          = 9
|   6 AvgPx           = 0
|  11 ClOrdID         = new_std_limit_order
|  14 CumQty          = 0
|  17 ExecID          = T175433116
|  20 ExecTransType   = NEW (0)
|  21 HandlInst       = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  31 LastPx          = 0
|  32 LastShares      = 0
|  37 OrderID         = 8726
|  38 OrderQty        = 10
|  39 OrdStatus       = NEW (0)
|  40 OrdType         = LIMIT (2)
|  44 Price           = 1.25
|  54 Side            = BUY (1)
|  55 Symbol          = EUR/USD
|  58 Text            = OANDA transaction ID(s): 175433116.
|  59 TimeInForce     = GOOD_TILL_DATE (6)
|  60 TransactTime    = 20091020-14:03:08
| 126 ExpireTime      = 20091025-12:34:56
| 150 ExecType        = NEW (0)
| 151 LeavesQty       = 10
+--TRAILER
|  10 CheckSum        = 056
+=====
```

Order Cancel / Replace Request (アウトバウンド、インバウンド) <G>

別名、Order Modification Request (注文変更リクエスト)。

既存のリミット、ストップ、またはマーケット・イフ・タッチド・メッセージのパラメータを変更するには、Order Cancel/Replace Request <G> を使用します。



現在、Order Cancel / Replace は、既存のリミット、ストップおよび有効期限付きマーケット・イフ・タッチド注文の、値段／逆指値、注文有効期限および注文数の変更可以使用です。

与えられる ClOrdID、Symbol、および Side のフィールドは、対象の注文を見つけるために使用されます。複数の注文がこの基準に該当した場合は、曖昧さ回避のために OrderID フィールドが必要になります。

異なる Symbol および／または Side フィールドで出されたリクエストは、いずれも期待する注文に該当することなく、不明の注文として拒否されます。

フィールド <G>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ | コメント |
|----|-----------------|----------------------------|----------------------------|--------|--|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド参照 MsgType = G |
| 37 | OrderID | N | N | string | OANDA サーバによって付与される注文の一意識別子 |
| 41 | OrigClOrdID | Y | Y | string | Cancel Request または Cancel/Replace Request 内の以前の注文の識別に使用。 |
| 11 | ClOrdID | Y | Y | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子。 |
| 1 | Account | N | Y | string | OANDA fxTrade または fxTrade Practice 口座番号。本仕様説明書で示される OANDA サーバへのアウトバウンド注文または取引リクエストに必要。 |
| 21 | HandInst | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | char | ブローカー立会場の注文取扱説明。FIX 4.4 では、このフィールドがない場合、値は 1 として解釈される。 有効値： |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|-----|--------------|---|----------------------------|----------------|---|
| | | | | | 1 = 自動執行注文、プライベート、ブローカーの介入無し。 |
| 55 | Symbol | Y | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。 例、EUR/USD。 |
| 54 | Side | Y | Y | char | 注文サイド。 有効値： 1 = バイ 2 = セル |
| 60 | TransactTime | Y | Y | UTC Time stamp | 執行/注文生成の時刻を UTC（協定世界時、または 'GMT'）で表示。 このフィールドのタイムスタンプにより、OANDA サーバは、注文の「ステール」の可能性を判断するために、ビジネスルールを適用することができる。（例、通信問題発生時）。 |
| 38 | OrderQty | N | Y | qty | 注文されたユニット数。 |
| 40 | OrdType | Y | Y | char | 注文タイプ 有効値： 2 = リミット 3 = ストップ J = マーケット・イフ・タッチド (FIX 4.4 のみ) |
| 44 | Price | N | Y リミットまたはマーケット・イフ・タッチド注文のみ | price | 通貨ペアの値段。 |
| 99 | StopPx | N | Y ストップオーダーのみ | price | 通貨ペアの逆指値。 |
| 59 | TimeInForce | N | N | char | 注文の有効期間を指定する。このフィールドがない場合は、デイとして解釈される。 有効値： 0 = デイ 6 = GTD。（GTD 注文は、さらに ExpireDate <432> または ExpireTime <126>のいずれかを必要とする。） |
| 432 | ExpireDate | N | | Local Mkt Date | GTD 注文は、示された日付の東部標準時で現地午後 5 時（EDT または EST）にリクエストの有効期限が終了する。 |
| 126 | ExpireTime | N | | UTC Time stamp | GTD 注文は、示された協定世界時の日付と時刻ちょうどにリクエストの有効期限が終了する。 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|--|------------------|---|---|--|------------------------------|
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド 参照 |
|--|------------------|---|---|--|------------------------------|

例

クライアント・アウトバウンド・リクエスト：

以前のリミットオーダー（買い）の修正で、値段を 1.28 に、数量を 15 に変更、リクエスト内の TimeInForce は省略され、有効期限はデイになります：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 140
|  35 MsgType          = OrderCancelReplaceRequest (G)
|  34 MsgSeqNum        = 172
|  49 SenderCompID     = testusr9
|  52 SendingTime      = 20091020-14:04:48.000
|  56 TargetCompID    = OANDA
+-BODY
|   1 Account          = 9
|  11 ClOrdID          = modify_std_limit_order
|  21 HandlInst        = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  38 OrderQty         = 15
|  40 OrdType          = LIMIT (2)
|  41 OrigClOrdID     = new_std_limit_order
|  44 Price             = 1.28
|  54 Side              = BUY (1)
|  55 Symbol           = EUR/USD
|  60 TransactTime    = 20091020-14:04:33
+-TRAILER
|  10 CheckSum        = 210
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 312
|  35 MsgType          = ExecutionReport (8)
|  34 MsgSeqNum        = 173
|  49 SenderCompID     = OANDA
|  52 SendingTime      = 20091020-14:04:48.929
|  56 TargetCompID    = testusr9
+-BODY
|   1 Account          = 9
|   6 AvgPx            = 0
|  11 ClOrdID          = modify_std_limit_order
|  14 CumQty           = 0
|  17 ExecID           = T175433117
|  20 ExecTransType    = NEW (0)
|  21 HandlInst        = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  31 LastPx           = 0
|  32 LastShares       = 0
|  37 OrderID          = 8726
|  38 OrderQty         = 15
|  39 OrdStatus        = REPLACED (5)
|  40 OrdType          = LIMIT (2)
|  41 OrigClOrdID     = new_std_limit_order
|  44 Price             = 1.28
|  54 Side              = BUY (1)
|  55 Symbol           = EUR/USD
|  58 Text              = OANDA transaction ID(s): 175433116-175433117.
|  59 TimeInForce      = GOOD_TILL_DATE (6)
|  60 TransactTime    = 20091020-14:04:48
| 126 ExpireTime       = 20091020-21:00:00
| 150 ExecType         = REPLACE (5)
| 151 LeavesQty        = 15
+-TRAILER

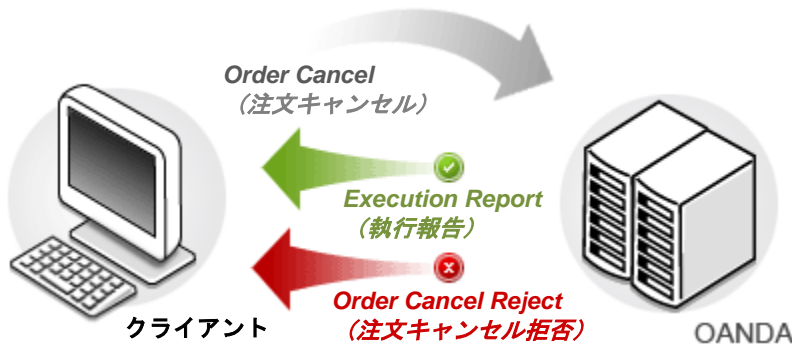
```

| 10 CheckSum = 225
+=====

Order Cancel Request (アウトバウンド) <F>

Order Cancel Request<F>メッセージは、注文の取り消しを要求します。

Order Cancel Request は、注文がまだ執行されず、取り消しできる場合にのみ受け入れられます（そして Execution Report<8> が返されます）。そうでない場合は、Order Cancel Reject<9>メッセージが返されます。



OANDA サーバは、完全キャンセルのみをサポートします。OrderQty タグは、FIX の仕様では条件付で必須とされますが、OANDA サーバでは必須ではありません。リクエスト内のいかなる OrderQty 値も無視され、オーダー自体がすべてキャンセルされます。注文の数量を減らすには、代わりに Order Cancel / Replace<G>メッセージを使用してください。

フィールド <F>

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | OANDA で 必須 | タイプ | コメント |
|----|-----------------|-------------|---------------|--------|--|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド参照 MsgType = F |
| 37 | OrderID | N | N | string | OANDA サーバによって付与される注文の一意識別子 |
| 41 | OrigClOrdID | Y | Y | string | Cancel Request または Cancel/Replace Request 内の以前の注文の識別に使用。 |
| 11 | ClOrdID | Y | Y | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子。 |
| 1 | Account | N | Y | string | OANDA fxTrade または fxTrade Practice 口座番号。本仕様説明書で示される OANDA サーバへのアウトバウンド注文または取引リクエストに必要。 |
| 55 | Symbol | Y | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。例、EUR/USD。 |
| 54 | Side | Y | Y | char | 注文サイド。 有効値： |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|----|---------------------|---|---|----------------------|---|
| | | | | | 1 = バイ 2 = セル |
| 60 | TransactTime | Y | Y | UTC Time stamp | <p>執行/注文生成の時刻を UTC (協定世界時、または'GMT') で表示。</p> <p>このフィールドのタイムスタンプにより、OANDA サーバは、注文の「ステール」の可能性を判断するために、ビジネスルールを適用することができる。 (例、通信問題発生時)。</p> <p>トレーラフィールド参照</p> |
| | Standard Trailer | Y | Y | | |

例

クライアント・アウトバウンド・リクエスト :

以前のリミットオーダーをキャンセルします :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 119
|  35 MsgType          = OrderCancelRequest (F)
|  34 MsgSeqNum        = 173
|  49 SenderCompID     = testusr9
|  52 SendingTime      = 20091020-14:05:34.000
|  56 TargetCompID     = OANDA
+-BODY
|   1 Account           = 9
|  11 ClOrdID           = cancel_std_limit_order
|  41 OrigClOrdID       = modify_std_limit_order
|  54 Side               = BUY (1)
|  55 Symbol             = EUR/USD
|  60 TransactTime      = 20091020-14:05:32
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 207
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 314
|  35 MsgType          = ExecutionReport (8)
|  34 MsgSeqNum        = 174
|  49 SenderCompID     = OANDA
|  52 SendingTime      = 20091020-14:05:35.405
|  56 TargetCompID     = testusr9
+-BODY
|   1 Account           = 9
|   6 AvgPx             = 0
|  11 ClOrdID           = cancel_std_limit_order
|  14 CumQty            = 0
|  17 ExecID            = T175433118
|  20 ExecTransType     = NEW (0)
|  21 HandlInst         = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  31 LastPx            = 0
|  32 LastShares        = 0
|  37 OrderID           = 8726
|  38 OrderQty          = 15
|  39 OrdStatus         = CANCELED (4)
|  40 OrdType           = LIMIT (2)
|  41 OrigClOrdID       = modify_std_limit_order
|  44 Price              = 1.28
|  54 Side               = BUY (1)
|  55 Symbol             = EUR/USD
|  58 Text               = OANDA transaction ID(s): 175433116-175433118.

```

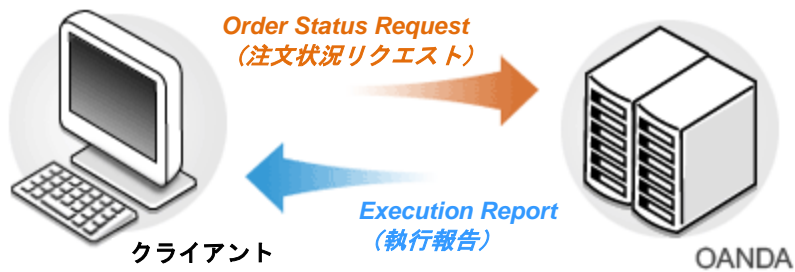
```

| 59 TimeInForce = GOOD_TILL_DATE (6)
| 60 TransactTime = 20091020-14:05:35
| 126 ExpireTime = 20091020-21:00:00
| 150 ExecType = CANCELED (4)
| 151 LeavesQty = 0
+-TRAILER
| 10 CheckSum = 185
+=====
    
```

Order Status Request (アウトバウンド) <H>

以前の注文に関する情報は、Order Status Request<H>メッセージで得ることができます。Execution Reportの返信メッセージは、リクエストされた注文の情報を提供します。

注文状況の情報は、注文の完了（約定、有効期限終了、取消）後、少なくとも1か月間は入手することができます。



フィールド <H>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ | コメント |
|----|------------------|----------------------------|-----------|--------|--|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド 参照。 MsgType = H |
| 37 | OrderID | N | N | string | OANDA サーバによって付与される注文の一意識別子 |
| 11 | ClOrdID | Y | Y | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子。 |
| 55 | Symbol | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | Y (常時) | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。例、EUR/USD。 |
| 54 | Side | Y | Y | char | 注文サイド。 有効値： 1 = バイ 2 = セル |
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

以前の注文のクライアント・アウトバウンド・リクエスト :

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 68
|  35 MsgType          = OrderStatusRequest (H)
|  34 MsgSeqNum        = 174
|  49 SenderCompID     = testusr9
|  52 SendingTime      = 20091020-14:06:18.000
|  56 TargetCompID     = OANDA
+-BODY
|  11 ClOrdID          = cancel_std_limit_order
|  54 Side              = BUY (1)
|  55 Symbol           = EUR/USD
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 044
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス :

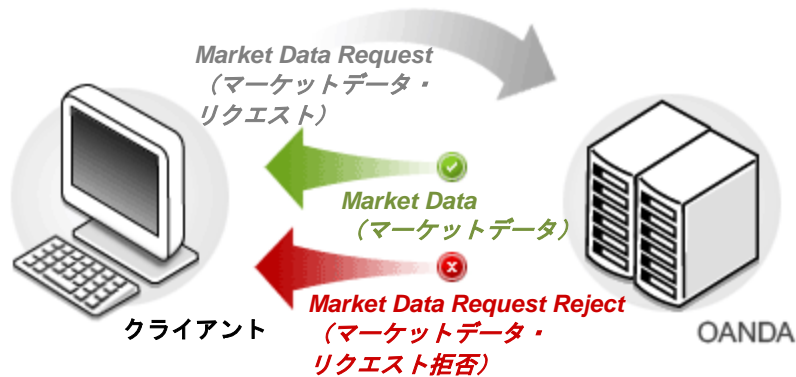
```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 269
|  35 MsgType          = ExecutionReport (8)
|  34 MsgSeqNum        = 175
|  49 SenderCompID     = OANDA
|  52 SendingTime      = 20091020-14:06:18.948
|  56 TargetCompID     = testusr9
+-BODY
|   1 Account          = 9
|   6 AvgPx           = 0
|  11 ClOrdID          = cancel_std_limit_order
|  14 CumQty           = 0
|  17 ExecID           = 0
|  20 ExecTransType    = STATUS (3)
|  21 HandlInst        = AUTOMATED_EXECUTION_ORDER_PRIVATE_NO_BROKER_INTERVENTION (1)
|  37 OrderID          = 8726
|  38 OrderQty         = 15
|  39 OrdStatus        = CANCELED (4)
|  40 OrdType           = LIMIT (2)
|  44 Price            = 1.28
|  54 Side              = BUY (1)
|  55 Symbol           = EUR/USD
|  58 Text             = OANDA transaction ID(s): 175433116-175433118.
|  59 TimeInForce      = GOOD_TILL_DATE (6)
|  60 TransactTime     = 20091020-14:05:35
| 126 ExpireTime       = 20091020-21:00:00
| 150 ExecType         = CANCELED (4)
| 151 LeavesQty        = 0
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 108
+=====

```

Market Data Request (アウトバウンド) <V>

FIX クライアントは、特定の forex レートに関するマーケットデータの一般的リクエストである Market Data Request<V>を用いて、OANDA のリアルタイム価格情報にアクセスできます。



Market Data Request のタイプ

Snapshot (SubscriptionRequestType = 0) は、1 回限りのリクエストに最適です。継続的にレートの変更が必要な場合は、短時間のスナップショット・ポーリングの利用ではなく、サブスクリプションリクエスト (スナップショット+更新、(SubscriptionRequestType = 1)) をお勧めします。

SubscriptionRequestType = 0、スナップショット

Market Data Request メッセージが有効で成功した場合、OANDA サーバは 1 つ以上のマーケットデータ・エントリを含めた 1 つ以上の Market Data - Snapshot/Full Refresh<W> メッセージを返します。無効または成功しなかった場合は、OANDA サーバは Market Data Request Reject <Y> を返します。

最善のパフォーマンスのために、1 つの Market Data Request で、希望するすべてのシンボル (通貨ペア) を出すことをお勧めします。また、各サイドで個別にリクエストを出すのではなく、バイサイドとセルサイド両方のデータをリクエストすることをお勧めします。複数のシンボルをリクエストした場合、Market Data Snapshot の返信は、シンボルごとに返されます。

SubscriptionRequestType = 1、スナップショット + 更新 (サブスクリプション)

サブスクリプションがリクエストされると、最初のスナップショットが返され、続いて Market Data - Incremental Refresh<X> メッセージがレートの変更に合わせて継続的に返されます。これらの Incremental Refresh メッセージは、サブスクリプションが取り消される、またはセッションの接続が断たれる、もしくはその他の理由で終了するまで継続的に届きます。

サブスクリプションには MDUpdateType<265> = 1 が指定される必要があります。そうでない場合、Market Data Reject<Y> MDReqRejReason = 6 (サポートされていない MDUpdateType) が返されます。この場合、新しいサブスクリプションはすべて拒否され、リクエストしたいいずれのシンボルのサブスクリプションも行われません。

MDReqID は、サブスクリプション間で一意でなければなりません。重複は検出され、Market Data Reject<Y> MDReqRejReason = 1 (重複 MDReqID) メッセージが返されます。この場合、新しいサブスクリプションはすべて拒否され、リクエストしたいいずれのシンボルのサブスクリプションも行われません。

あるサブスクリプションでリクエストされたシンボルがすでに別のサブスクリプションの対象となっている場合、重複シンボルを示す Text<58>とともに Market Data Reject<Y> 経由でサブスクリプションがすべて拒否されます。この場合、新しいサブスクリプションはすべて拒否され、リクエストい

れのシンボルのサブスクリプションも行われません。

最善のパフォーマンスのために、OANDA は、1 件の配信で Bid（売り）と Offer（買い）両方のリクエストとともにご興味をお持ちのシンボルをすべて含めることをお勧めします。

OANDA は、将来にわたりサブスクリプション動作の最適化または改修する権利を留保します。

SubscriptionRequestType = 2、以前のスナップショット + 更新リクエストを無効にする (サブスクリプション停止)

サブスクリプション停止リクエストには、現在利用中のサブスクリプションの MDReqID を提供しなければなりません。すべてのサブスクリプションが解除され、参照されるリクエストのすべてのシンボルのサブスクリプションが停止します。

MDEntryType および Symbol は、サブスクリプション停止リクエストでは無視されます。お客様のクライアント FIX エンジンでサポートされている場合は、NoMDEntryTypes<267> = 0 並びに NoRelatedSym <146> = 0 を設定し、すべての MDEntryType/Symbol タグを省略することを推奨します（ただし、これは必須ではありません）。

Snapshot および Incremental Refresh メッセージの厳密なフォーマットは、後ほど本仕様説明書内のサーバ・レスポンスの節で説明します。

フィールド <V>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | OANDA で必須 | タイプ | コメント |
|-----|-------------------------|---------|-----------|--------|---|
| | Standard Header | Y | Y | | ヘッダフィールド 参照。 |
| 262 | MDReqID | Y | Y | string | MsgType = V Market Data Request 用一意識別子。 一意でなければならない、または SubscriptionRequestType= 以前のスナップショット+更新リクエストを無効にする (2) の場合、以前の Market DataRequest ID を無効にする。 |
| 263 | SubscriptionRequestType | Y | Y | char | どのタイプのレスポンスが期待されているかを相手側に示す。 有効値： 0 = スナップショット（現在の情報のみ要求） 1 = スナップショット+更新（サブスクリプション）（現在の情報と増分更新のサブスクリプションを要求） 2 = 以前のスナップショット+更新リクエスト無効化（サブスクリプション停止）（以前のサブスクリプションをキャンセルする） |
| 264 | MarketDepth | Y | Y | int | Book スナップショットのための市場の厚み 有効値： 1 = Book のトップ |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | | |
|-----|------------------|---|-----------------|--------|--|
| 265 | MDUpdateType | N | Y サブスクリプション用 | int | マーケットデータ更新タイプを指定する。 有効値： 1 = Incremental refresh (増分更新) Market data full refreshes (全更新) は、サポートされていない。 スナップショットのみ、およびサブスクリプション停止リクエストでは、このタグは省略されなければならない。 |
| 267 | NoMDEntryTypes | Y | Y | int | MDEntryType <269> エントリを繰り返す数を指定。 |
| 269 | MDEntryType | Y | Y | char | マーケットデータを要求している会社が受信に興味を持っているエントリ。フィールド 267 で定義されているように、複数のフィールドが可能。 有効値： 0 = Bid (売り) 1 = Offer (買い) |
| 146 | NoRelatedSym | Y | Y | int | Symbol <55>タグの繰り返し回数を指定。 |
| 55 | Symbol | Y | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。例、EUR/USD。 |
| 57 | TargetSubID | N | Y | string | レートフィードを最新の価格に更新する。 有効値：57 = RATES |
| | Standard Trailer | Y | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

単一シンボル用クライアント・アウトバウンド・リクエスト：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 81
|  35 MsgType          = MarketDataRequest (V)
|  34 MsgSeqNum        = 2
|  49 SenderCompID    = testusr9
|  52 SendingTime      = 20100119-17:17:02.377
|  56 TargetCompID    = OANDA
+-BODY
|  146 NoRelatedSym    = 1
|  262 MDReqID         = foo
|  263 SubscriptionRequestType = SNAPSHOT (0)
|  264 MarketDepth     = 1
|  267 NoMDEntryTypes = 2
+-NoRelatedSym-Member-0
|   55 Symbol          = EUR/USD
+-NoMDEntryTypes-Member-0
|  269 MDEntryType     = BID (0)
+-NoMDEntryTypes-Member-1
|  269 MDEntryType     = OFFER (1)
+-TRAILER
|  10 CheckSum         = 028
    
```

OANDA FIX 仕様説明書

+=====

OANDA FIX 仕様説明書

サーバ・インバウンド・レスポンス :

```
+--HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength      = 195
|  35 MsgType         = MarketDataSnapshotFullRefresh (W)
|  34 MsgSeqNum       = 3
|  49 SenderCompID    = OANDA
|  52 SendingTime     = 20100119-17:17:02.379
|  56 TargetCompID    = testusr9
+--BODY
|   55 Symbol          = EUR/USD
|  262 MDReqID        = foo
|  268 NoMDEntries    = 2
+--NoMDEntries-Member-0
|  269 MDEntryType    = BID (0)
|  270 MDEntryPx      = 1.42706
|  271 MDEntrySize    = 10000000
|  272 MDEntryDate    = 20100119
|  273 MDEntryTime    = 17:17:02
+--NoMDEntries-Member-1
|  269 MDEntryType    = OFFER (1)
|  270 MDEntryPx      = 1.42715
|  271 MDEntrySize    = 10000000
|  272 MDEntryDate    = 20100119
|  273 MDEntryTime    = 17:17:02
+--TRAILER
|   10 CheckSum       = 215
+=====
```

サーバ・レスポンス（インバウンド）

Execution Report（インバウンド） <8>

Execution Report<8>メッセージは、クライアントの注文が執行または拒否されたことを報告するために、OANDA サーバによって返されます。このメッセージの例として以下が挙げられます：

注文の受領確認（New Order - Single<D>）
 既存の注文への変更の確認
 （Order Cancel Request <F>、Order Cancel / Replace Request <G>）
 新規注文拒否

拒否された注文変更またはキャンセルは、Order Cancel Reject<9>経由で通知されます。

Execution Report メッセージのフォーマットは、FIX のバージョンにより異なる点にご注意ください。FIX 4.2 では、各 Execution Report には、注文の現在の状況とメッセージの目的の両方を通知するために使用される OrdStatus<39>、ExecType<150>、ExecTransType<20>の 3 つのフィールドが含まれます。FIX 4.4 では、各 Execution Report の 2 つのフィールドが、注文の現在の状況（OrdStatus<39>）とメッセージの目的（ExecType <150>）の両方を通知するために使用されます。

Execution Report では、長期注文のために報告される TimeInForce <59>タグは、TimeInForce=DAY が指定されたリクエストに応じて、デイとして報告されます。一般的に、注文の有効期限は ExpireTime <126>経由で報告された厳密な UTC 有効期限とともに、TimeInForce=GTD を使用して報告されます。

Text<58>フィールドは、注文執行に関する補足情報を提供します。これは、ピリオド並びにスペースで区切られたフレーズまたは文で構成されています。また、Execution Report は ["OANDA トランザクション・チケットへの FIX 注文のマッピング"](#) で説明されている FIX 注文に対応する OANDA トランザクション ID（トランザクション・チケット）を掲載しています。

FIX 4.2 セッションで表示されるマーケット・イフ・タッチド注文の Execution Report は、Text<58>注釈 “OrdType=J” とともに OrdType <40>=2 として報告されます。

フィールド <8>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | タイプ | コメント |
|----|-----------------|---------|--------|--|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。MsgType = 8 |
| 37 | OrderID | Y | string | OANDA サーバによって付与される注文の一意識別子。 |
| 11 | ClOrdID | N | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子 |
| 41 | OrigClOrdID | N | string | クライアントによって付与される以前の注文（その日の最初の注文ではない）の ClOrdID<11>で、Cancel Request および Cancel/Replace Request 内の以前の注文を識別するために使用。 |
| 17 | ExecID | Y | string | OANDA サーバによって付与される執行 ID。 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|-----|-------------------------------|----------------------------------|--------|--|
| 20 | ExecTransType (FIX 4.2 のみ) | Y | char | トランザクション・タイプの識別。 有効値： 0 = 新規 |
| 150 | ExecType | Y | char | 具体的な Execution Report (例、未履行取消) の記述、一方 OrdStatus <39> は 現在の注文状況 (例、一部約定) を常に識別。 有効値： 0 = 新規 2 = 約定 (FIX 4.2 のみ) 4 = キャンセル済み 5 = 変更済み 8 = 拒否済み C = 有効期限切れ F = 取引 (FIX 4.4 のみ) |
| 39 | OrdStatus | Y | char | 現在の注文状況を識別。 有効値： 0 = 新規 2 = 約定済み 4 = キャンセル済み 5 = 変更済み (FIX 4.2 のみ) 8 = 拒否済み C = 有効期限切れ |
| 103 | OrdRejReason | N | int | 注文拒否理由識別コード。 有効値： 0 = ブローカー・オプション 1 = 不明なシンボル 2 = 取引所クローズ 3 = 制限を超えた注文 4 = 締め切り後入力 5 = 不明な注文 6 = 重複注文 (例、重複 CIOrdID<11>) 8 = ステール注文 99 = その他 (FIX 4.4 のみ) |
| 1 | Account | N | string | OANDA fxTrade または fxTrade Practice 口座番号。本 仕様説明書で示されている OANDA サーバへのアウト バウンド注文または取引リクエストが必要。 |
| 21 | HandInst | Y (FIX 4.2) N (FIX 4.4) | "1" | ブローカー立会場の注文取扱説明。FIX 4.4 では、この フィールドがない場合、値は 1 として解釈される。 有効値： 1 = 自動執行注文、プライベート、ブローカーの介入無 し |
| 55 | Symbol | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアで なければならない。例、EUR/USD。 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|-----|---|---|----------------------|---|
| 461 | CFIcode (FIX 4.4 のみ) | N | string | ISO 10962 準拠 CFI コード 有効値 : MRCXXX |
| 54 | Side | Y | char | 注文サイド。 有効値 : 1 = バイ 2 = セル |
| 38 | OrderQty | N | qty | 注文されたユニット数。 |
| 40 | OrdType | N | char | 注文タイプ 有効値 : 1 = マーケット 2 = リミット 3 = ストップ J = マーケット・イフ・タッチド FIX 4.2 セッションでのマーケット・イフ・タッチド注文の Execution Reports は、補足 Text <58> トークンとともに OrdType=2 を報告することに注意。 |
| 44 | Price | N | Price | 注文で指定された場合に提示。 |
| 99 | StopPx | N | Price | 注文で指定された場合に提示。 |
| 59 | TimeInForce | N | char | 注文で指定された場合に提示。 有効値 : 0 = デイ 3 = IOC 4 = フィル・オア・キル (FOK) 6 = GTD |
| 126 | ExpireTime | N | UTC Time stamp | エントリ、リミットオーダー、またはストップオーダーの有効期限を示すために提供される。 |
| 32 | LastShares (FIX 4.2) LastQty (FIX 4.4) | N | qty | この (1 つ前の) 約定で売買されたユニット。 |
| 31 | LastPx | N | price | この (1 つ前の) 約定の値段。 |
| 151 | LeavesQty | Y | qty | 将来の執行のためにオープンになっている量。 OrdStatus がキャンセル、期限切れ、または拒否された場合 (いずれも注文はすでに有効でない) 、 LeavesQty は 0、そうでなければ、 LeavesQty = OrderQty - CumQty。 |
| 14 | CumQty | Y | qty | 約定した合計ユニット数。 |
| 6 | AvgPx | Y | price | この注文の全約定の算出平均価格。 |
| 60 | TransactTime | N | UTC Time Stamp | この Execution Reports が出たことによって示された トランザクションの時間。 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|----|------------------|---|--------|---|
| 58 | Text | N | string | 注文の補足情報を提供する Text メッセージ。FIX4.2 セッションのマーケット・イフ・タッチド注文メッセージは、トークン OrdType=J を含む。また、その結果の OANDA ID は、ここに掲載される。 |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

Order Cancel Reject (インバウンド) <9>

Order Cancel Reject<9>メッセージは、Cancel Request<F>または Cancel/Replace Request<G>メッセージが失敗したときに、OANDA サーバによって出されます。

値段または数量の変更リクエストは、残高数量があるときのみ実行されます。約定済みの注文は変更できません。

フィールド <9>

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
|-----|------------------|-------------|--------|--|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。 MsgType = 9 |
| 37 | OrderID | N | string | OANDA サーバによって付与される注文の一意識別子。 |
| 11 | ClOrdID | Y | string | クライアントによって付与される一意の注文識別子。 |
| 41 | OrigClOrdID | Y | string | キャンセル/変更できなかった ClOrdID。 注文キャンセルまたは変更時の、以前の注文 ClOrdID (その日の最初の注文ではない)。 |
| 39 | OrdStatus | Y | char | このキャンセル拒否適用後の OrdStatus の値。 有効値： 0 = 新規 2 = 約定済み 4 = キャンセル済み 8 = 拒否済み C = 有効期限切れ |
| 1 | Account | N | string | OANDA fxTrade または fxTrade Practice 口座番号。 本仕様書で示されている OANDA サーバへのアウトバウンド注文または取引リクエストが必要。 |
| 434 | CxlRejResponseTo | Y | char | Cancel Reject が出されたリクエストのタイプを識別。 有効値： 1 - Order Cancel Request <F> 2 - Order Cancel/Replace Request <G> |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|-----|------------------------------|------------|--------|---|
| 102 | CxlRejReason | N | int | キャンセル拒否理由識別コード。 有効値： 0 = 遅すぎる取消 1 = 不明な注文 2 = ブローカー／取引所オプション 6 = 重複 CIOrdID 受信 (FIX 4.4 のみ) 99 = その他 (FIX 4.4 のみ) |
| 58 | Text Standard Trailer | N Y | string | 無効なフィールドの記述。下記リスト参照。 トレーラフィールド 参照 |

Text Field に使用される値 (58)

Text (58) フィールドには、状況に応じて以下のメッセージが1つまたはそれ以上表示されます。このリストのメッセージに限られるものではありません。

注：Text (58) フィールドは、OANDA トランザクション・チケットも含まれます— 本仕様説明書前半の“OANDA トランザクション・チケットへの FIX 注文のマッピング”を参照してください。

| タイプ 状況 | フォーマット | 選択された例 | 例 説明 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| ERROR : 必須タグの欠如 | [tag] が必要です。 | OrigCIOrdID <41>が必要です。 OrderQty <38> が必要です。 Account <1> が必要です。 | |
| ERROR : 与えられたタグの 値がサポート対象 外 | [tag] = [value] はサポ ートされていませ ん。 | Side <54> = 4 はサポートされて いません。 OrdType <40> = P はサポートさ れていません。 | |
| ERROR : タグ の値が無効 | [tag] 無効な値です。 | OrderQty <38> 無効な値です。 | 例、-100 ユニットの リクエストが行 われた場合 |
| | | Account <1> 無効な値です。 | 例、数値が要求さ れているところ に、口座 "johnny's" が入力された場 合。 |
| ERROR : 間違ったフォーマ ットによるタグ値 | [tag] フォーマットエ ラー。 | OrderID <37> フォーマットエラ ー。 | 例、数値が要求さ れているところ に、注文 ID "three" が入力された場 合。 |
| | | ExpireTime <126> フォーマット エラー。 | 例、"January15th" という誤った日付 フォーマットが使 用された場合 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|
| ERROR : タグ指定はされているが、特定のリクエストに対して有効でない | [tag2] = [value2] のときには、[tag] は有効ではありません。 | OrdType <40> = 1 のときには、Price <44> は有効ではありません。 | ユーザーがマーケットオーダーに指値を指定しようとした場合。 |
| | | OrdType <40> = 1 のときには、StopPx <99> は有効ではありません。 | ユーザーがマーケットオーダーに逆指値を指定しようとした場合。 |
| | | OrdType <40> = 2 のときには、StopPx <99> は有効ではありません。 | ユーザーがリミットオーダーに逆指値を指定しようとした場合。 |
| ERROR : 特定のリクエストタイプに必要なタグの欠如 | [tag2] = [value2] のときは、[tag] が必要です。 | OrdType <40> = 2 のときは、Price <44> が必要です。 | リミットオーダーで指値が与えられていない場合。 |
| | | OrdType <40> = 3 のときは、StopPx <99> が必要です。 | ストップオーダーで逆指値が与えられていない場合。 |
| | | TimeInForce <59> = 6 のときは、ExpireDate <432>、ExpireTime <126> のいずれかが必要です。 | 特定の注文の有効期限が与えられていない場合。 |
| ERROR : 与えられたタグの値が、特定のリクエストにはサポートされていない | [tag2] = [value2] のとき、[tag] = [value] はサポートされていません。 | OrdType <40> = J のとき、TimeInForce <59> = 3 はサポートされていません。 | ユーザーがマーケット・イフ・タッチ注文で IOC 執行を要求した場合。 |
| WARNING : 当日有効期限に近すぎる時間にデイトオーダーを出した | | 16:55 ET 以降に注文が受信されました。注文は翌日 17:00ET (21:00 UTC) に有効期限切れとなります。 | |
| ERROR : 不許可で口座での取引を行おうとする試み | Account <1> = [value] アクセス拒否。 | Account <1> = 15 アクセス拒否。 | |
| ERROR : 与えられた値が有効値でない | [tag] = [value] が無効です。 | Symbol <55> = gold/dollar が無効です。 | |
| ERROR : NSF のため取引失敗 | Account <1> = [value] 残高不足です。 | | |
| ERROR : 取引停止シンボル | Symbol <55> = [value] 取引停止です。 | | |
| NOTICE または ERROR : 取引サイズが | OrderQty <38> = [value] は、シンボルの取引可能数量を | | |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | |
|--|--|---|---|
| 最大限度を超えている | 超えています。 | | |
| ERROR : 既存の注文のリクエストに対し、複数の注文が候補として挙がる (特定の OrderID でリクエストを再提出) | 複数の注文が該当します : [orderid] (ordertype), [orderid] (ordertype). または 複数の注文が該当します : (ClOrdID, OrderID, OrdType) : [clordid], [orderid], [ordtype]; [repeats]. | 複数の注文が該当します : 15(2), 19(1), 25(3). 複数の注文が該当します : buymore,15,2; buymore,19,1; buymore,25,3. | 2つのフォーマット有り : カンマで区切られたリスト : "b(c)" または、セミコロンで区切られたリスト : "a,b,c" (ここでは b は orderid、c は ordtype)。 |
| ERROR : 正確な注文の orderid は与えられているが、指定された値の一部が注文の詳細に該当しない | [tag]の値が間違っています。 | Symbol <55>の値が間違っています。 Side <54>の値が間違っています。 | |
| ERROR : ユーザーが固定された注文パラメータを変更しようとした場合 | [tag]の変更は許可されていません。 | TimeInForce<59>の変更は許可されていません。 Symbol <55>の変更は許可されていません。 Side <54>の変更は許可されていません。 OrdType <40>の変更は許可されていません。 | |
| ERROR : 注文の期間が範囲外 | [tag] = [value]が範囲外です。注文の有効期限は最小5分、最大30暦日です。 | ExpireDate <432> = 21000115が範囲外です。注文の有効期限は最小5分、最大30暦日です。 | |
| NOTICE : 価格条件を満たしていないため、FOK/IOC エラーがキャンセルされた | [tag] = [value] が満たされていません。 (market [type] = [price]) | Price <44> = 1.01 が満たされていません (market offer = 1.00)。 StopPx <99> = 1.01 が満たされていません (market bid = 1.00)。 | |

Reject (インバウンド) <3>

Reject<3>メッセージは、メッセージ受信時にシンタックスエラーまたはその他のコーディング論理違反により、適切に処理できないときに、OANDA サーバから出されます。例えば、"MsgType <35>=&" という文字列は、復号、Checksum<10> 並びに BodyLength<9> チェックには成功しますが、Reject メッセージで OANDA サーバに拒否されます。

拒否理由は、SessionRejectReason<373>タグで、Text<58> フィールドでのさらに進んだ説明とともに与えられる場合があります。

フィールド <3>

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
|-----|----------------------|-------------|--------|--|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。MsgType = 3 |
| 45 | RefSeqNum | Y | int | 拒否されたメッセージの MsgSeqNum |
| 371 | RefTagID | N | int | 参照された FIX フィールドのタグ番号。 |
| 372 | RefMsgType | N | string | 参照された FIX メッセージの MsgType。 |
| 373 | SessionReject Reason | N | int | セッションレベル Reject メッセージ理由識別コード。 使用可能な値： 0 無効なタグ番号 1 必須タグの欠如 2 このメッセージタイプに定義されていないタグ 3 未定義タグ 4 値無しで指定されたタグ 5 このタグに対し間違った値（範囲外） 6 間違ったデータフォーマットの値 7 復号問題 8 Signature <89> 問題 9 CompID 問題 10 SendingTime <52> 精度問題 11 無効な MsgType <35> |
| 58 | Text | N | string | （SessionRejectReason <373> が指定されない場合、他のセッションレベル規則違反が存在する可能性がある。） 可能なときは、このメッセージによって拒否理由を説明 |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

Business Message Reject (インバウンド) <j>

セッションレベル規則は満たしているがビジネス要件を満たしていないクライアントのリクエストメッセージに対し、他に方法がない場合には Business Message Reject <j> メッセージで拒否します。

フィールド <j>

| タグ | フィールド名 | FIXで必須 | タイプ | コメント |
|-----|----------------------|--------|--------|---|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。 MsgType = j (lower case) |
| 45 | RefSeqNum | N | int | 拒否されたメッセージの MsgSeqNum |
| 372 | RefMsgType | Y | string | 参照されている FIX メッセージの MsgType。 |
| 379 | BusinessRejectRefID | N | string | 参照されているメッセージのビジネスレベル "ID" フィールドの値。対応する ID フィールド（上記リスト参照）が指定されていない場合を除いて必須。 |
| 380 | BusinessRejectReason | Y | int | Business Message Reject メッセージ理由識別コード 有効値： 1 = 不明な ID 3 = サポートされていないメッセージタイプ 4 = 利用できないアプリケーション 5 = 条件付必須フィールドの欠如 |
| 58 | Text | N | string | 可能な場合は、拒否理由を説明するためのメッセージ |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

Market Data - Snapshot/Full Refresh <W>

Market Data - Snapshot/Full Refresh <W> メッセージは、Market Data Request <V> メッセージへの応答です。Snapshot <W> メッセージは、そのメッセージの MDReqID タグ経由で Market Data Request <V> 情報を提供します。

1 つの <V> メッセージで複数のシンボルが要求された場合、各 <W> メッセージは 1 つのシンボルの情報のみを提供するため、結果として複数の <W> レスポンスが返されます。

（取引できないペアの）気配値は、MDEntrySize=0 および Text="Indicative"を報告します。

フィールド <W>

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
|-----|------------------|-------------|-------------|---|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。 MsgType = W |
| 262 | MDReqID | N | string | Market Data Request <V> の一意識別子 |
| 55 | Symbol | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。例、EUR/USD。 |
| 268 | NoMDEntries | Y | int | 続くエントリ数 |
| 269 | MDEntryType | Y | char | マーケットデータ・エントリのタイプ。この繰り返しのグループ内の最初のフィールドでなければならない。 有効値： 0 = Bid (売り) 1 = Offer (買い) |
| 270 | MDEntryPx | Y | price | マーケットデータ・エントリの値段 |
| 271 | MDEntrySize | N | int | Market Data Snapshot が生成された時点での取引可能ユニット数 (または最大取引サイズ) |
| 272 | MDEntryDate | N | UTCDate | レートデータの UTC 日付 |
| 273 | MDEntryTime | N | UTCTimeOnly | レートデータの UTC 時刻 |
| 58 | Text | N | String | 気配値は"Indicative"として記される。 |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

Full Refresh メッセージの例は、前の Market Data<V>の例を参照してください。

Market Data - Incremental Refresh <X>

Market Data Request<V>サブスクリプションリクエストにおいて、リクエストしたシンボルのスナップショットが送信された後、レートの更新に関する Incremental Refresh <X> メッセージが送信されます。レート更新がない場合は、メッセージは送信されません。

OANDA レート・システムは、常に Bid (売り) および Offer (買い) レートを同時更新します。Bid および Offer 両方のサブスクリプションがリクエストされた場合、これらは Incremental Refresh で常に一緒に提供されます。

MDEntrySize および MDEntryDate タグは、Incremental Refresh メッセージに現れる場合とそうでない場合があります。ない場合は、直近に示された値がまだそのシンボルに適用されていることとなります。

複数サブスクリプションについての注記

<X> メッセージは、複数のマーケットデータ・エントリをサポートします。よって、各 <X> メッセージが複数シンボルのレート更新を提供し、場合によっては複数のサブスクリプションから提供することもあります。

1 件のサブスクリプションの場合：Incremental Refresh <X> メッセージが 1 件のサブスクリプション内にすべてのシンボルのレートデータを含む場合、その MDRReqID タグが要求するサブスクリプションを示します。

複数サブスクリプションの場合：そのメッセージが複数のサブスクリプションからのシンボルのデータを含む場合、各 MD エントリは "MDReqID=<id>" という文字列とともに Text フィールドを含みます。ここで言う "<id>" とは、要求するサブスクリプションを示します。

OANDA は、将来にわたりサブスクリプション動作の最適化または修正の権利を留保します。

フィールド <X>

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | タイプ | コメント |
|-----|------------------------|---------|--------|--|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。MsgType = X |
| 262 | MDReqID | N | string | このメッセージが 1 件の Market Data Request <V> に対するものである場合に条件付で提供される。上記複数サブスクリプションの節参照。 |
| 268 | NoMDEntries Entries | Y | int | 続くエントリ数 NoMDEntries フィールドを基にした複数のエントリになる場合がある。（フィールドの詳細は下記 MD エントリ表参照。） |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

MD エントリ

複数の MD エントリが返される場合があります（エントリ数は NoMDEntries フィールドで定義されています）。

| タグ | フィールド名 | FIX で必須 | タイプ | コメント |
|-----|----------------|---------|------|----------------|
| 279 | MDUpdateAction | Y | char | 有効値： 1 = 変更 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|-----|-------------|---|-------------|--|
| 269 | MDEntryType | N | char | マーケットデータ・エントリのタイプ。 有効値： 0 = Bid (売り) 1 = Offer (買い) |
| 55 | Symbol | N | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない。例、EUR/USD。 |
| 270 | MDEntryPx | N | price | マーケットデータ・エントリの値段。 |
| 271 | MDEntrySize | N | Int | Market Data Snapshot が生成された時点での取引可能ユニット数 (または最大取引サイズ) |
| 272 | MDEntryDate | N | UTCDate | レートデータの UTC 日付 |
| 273 | MDEntryTime | N | UTCTimeOnly | レートデータの UTC 時刻 |
| 58 | Text | N | String | 気配値は "Indicative" として記される。 |
| 58 | Text | N | string | 複数のサブスクリプションがある場合、MDReqIDを示す。上記複数サブスクリプションの節参照。 |

例：

MDReqID=foo サブスクリプションに応える Incremental Refresh のサンプルメッセージ。2つのシボルのデータを提供しています (リクエストと最初のスナップショット・レスポンスは掲載されていません)：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength      = 315
|  35 MsgType         = MarketDataIncrementalRefresh (X)
|  34 MsgSeqNum       = 229
|  49 SenderCompID    = OANDA
|  52 SendingTime     = 20090618-15:03:56.000
|  56 TargetCompID    = testusr
+-BODY
|  262 MDReqID        = foo
|  268 NoMDEntries    = 4
+-NoMDEntries-Member-0
|  279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
|  269 MDEntryType    = BID (0)
|   55 Symbol         = USD/CAD
|  270 MDEntryPx      = 1.12654
|  272 MDEntryDate    = 20090618
|  273 MDEntryTime    = 15:03:56
+-NoMDEntries-Member-1
|  279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
|  269 MDEntryType    = OFFER (1)
|   55 Symbol         = USD/CAD
|  270 MDEntryPx      = 1.12694
|  272 MDEntryDate    = 20090618
|  273 MDEntryTime    = 15:03:56
+-NoMDEntries-Member-2
|  279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
|  269 MDEntryType    = BID (0)
|   55 Symbol         = EUR/USD
|  270 MDEntryPx      = 1.39651

```

OANDA FIX 仕様説明書

```
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:03:56
+-NoMDEntries-Member-3
| 279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
| 269 MDEntryType = OFFER (1)
| 55 Symbol = EUR/USD
| 270 MDEntryPx = 1.39663
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:03:56
+-TRAILER
| 10 CheckSum = 253
+=====
```

MDReqID=foo および MDReqID=bar からの 2 つの異なるサブスクリプションリクエストで要求されたシンボルの Incremental Refresh サンプルメッセージ :

```
+--HEADER
| 8 BeginString = FIX.4.2
| 9 BodyLength = 366
| 35 MsgType = MarketDataIncrementalRefresh (X)
| 34 MsgSeqNum = 26
| 49 SenderCompID = OANDA
| 52 SendingTime = 20090618-15:08:15.000
| 56 TargetCompID = testusr
+-BODY
| 268 NoMDEntries = 4
+-NoMDEntries-Member-0
| 279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
| 269 MDEntryType = BID (0)
| 55 Symbol = GBP/CHF
| 270 MDEntryPx = 1.76829
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:08:15
| 58 Text = MDReqID=bar
+-NoMDEntries-Member-1
| 279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
| 269 MDEntryType = OFFER (1)
| 55 Symbol = GBP/CHF
| 270 MDEntryPx = 1.76882
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:08:15
| 58 Text = MDReqID=bar
+-NoMDEntries-Member-2
| 279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
| 269 MDEntryType = BID (0)
| 55 Symbol = USD/CAD
| 270 MDEntryPx = 1.12607
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:08:15
| 58 Text = MDReqID=foo
+-NoMDEntries-Member-3
| 279 MDUpdateAction = CHANGE (1)
| 269 MDEntryType = OFFER (1)
| 55 Symbol = USD/CAD
| 270 MDEntryPx = 1.12647
| 272 MDEntryDate = 20090618
| 273 MDEntryTime = 15:08:15
| 58 Text = MDReqID=foo
+-TRAILER
| 10 CheckSum = 008
+=====
```

Market Data Request Reject <Y>

Market Data Request Reject <Y>は、ビジネスまたは技術的理由により、ブローカーが Market Data Request を履行できない場合に使用されます。ブローカーは、リクエストのサイズや、Book のトップのみまたは全体を表示するのか、もしくは全更新または増分更新を使用しなければならないのか等、様々なパラメータを限定する選択ができます。

フィールド

| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
|-----|------------------|-------------|--------|---|
| | Standard Header | Y | | ヘッダフィールド 参照。MsgType = Y |
| 262 | MDReqID | Y | string | Market Data Request <V> の一意識別子 |
| 281 | MDReqRejReason | N | char | Market Data Request の拒否理由。 有効値： 0 = 不明なシンボル 4 = サポートされていない SubscriptionRequestType |
| 58 | Text | N | string | サーバからの説明文。 |
| | Standard Trailer | Y | | トレーラフィールド 参照 |

例

無効なシンボルのクライアント・リクエストのサンプル：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 88
|  35 MsgType          = MarketDataRequest (V)
|  34 MsgSeqNum        = 28
|  49 SenderCompID     = testusr
|  52 SendingTime      = 20090605-16:23:59.000
|  56 TargetCompID    = OANDA
+-BODY
|  146 NoRelatedSym    = 1
|  262 MDReqID         = 6
|  263 SubscriptionRequestType = SNAPSHOT (0)
|  264 MarketDepth     = 1
|  267 NoMDEntryTypes = 2
+-NoRelatedSym-Member-0
|   55 Symbol          = Dubloon/Buckazoid
+-NoMDEntryTypes-Member-0
|  269 MDEntryType     = BID (0)
+-NoMDEntryTypes-Member-1
|  269 MDEntryType     = OFFER (1)
+-TRAILER
|  10 CheckSum        = 115
+=====

```

サーバ・インバウンド・レスポンス：

```

+-HEADER
|   8 BeginString      = FIX.4.2
|   9 BodyLength       = 92
|  35 MsgType          = MarketDataRequestReject (Y)
|  34 MsgSeqNum        = 29
|  49 SenderCompID     = OANDA
|  52 SendingTime      = 20090605-16:23:59.000
|  56 TargetCompID    = testusr
+-BODY
|   58 Text            = InvalidPairException
|  262 MDReqID         = 6
|  281 MDReqRejReason = UNKNOWN_SYMBOL (0)
+-TRAILER
|  10 CheckSum        = 121
+=====

```

付録 : FIX データタイプ

タイプ : char (文字型)

1 文字分の値で、英数字または区切り文字を除く句読点を含みます。文字型フィールドはすべて、大文字小文字を区別します (すなわち、m != M)。

タイプ : data (データ型)

(ブーリアン) フォーマットまたはコンテンツ制限のないローデータ。データ・フィールドの直前には常に length フィールドが先行しています。length フィールドは、データ・フィールドの値のバイト数を指定しなければなりません (終了 SOH まで。その SOH は含みません)。注意 : これらのフィールドの 1 つの値には、区切り文字 (SOH) を入れることができます。すべてのフィールドが "SOH" で終了するため、このフィールドのために指定された値の後には、区切り文字 (SOH) が続く必要があることに留意してください。

タイプ : int (整数型)

カンマまたは小数点以下の桁を除いた一連の数字と任意符号文字 (ASCII 文字 "-" および "0" - "9")。符号文字は 1 バイト使用します (すなわち、正の整数は "99999"、負の整数は "-99999")。整数値は先頭にゼロを含むことができます (例、"00023" = "23")。例 : フィールド 21 内の 723 は |21=723| としてマップされた int になり、フィールド 12 内の -723 は |12=-723| というマップされた int になります。

タイプ : length (長さ)

データ・フィールドの値のバイト数を示す正の整数。

タイプ : LocalMktDate (ローカルマーケット日付)

ローカルマーケットの日付。YYYYMMDD フォーマットで表示され、YYYY = 0000-9999、MM = 01-12、DD = 01-31 が入ります。UTCTimestamp の対照となるものです。

タイプ : price (値段)

小数点第 5 位までの正の浮動値。

タイプ : string (文字列)

区切り文字を除くあらゆる文字と句読点を含むことができるフリー・フォーマットの連続の英数字。char フィールドはすべて、大文字小文字を区別します。

タイプ : UTCDate (UTC 日付)

UTCTimestamp の YYYYMMDD 部分。

タイプ : UTCTimeOnly (UTC 時刻のみ)

UTCTimestamp の HH:MM:SS 部分。

タイプ : UTCTimestamp (UTC タイムスタンプ)

UTC (世界協定時、または "GMT") の時刻 / 日付の組み合わせで、YYYYMMDD-HH:MM:SS (1 秒ごと) または YYYYMMDD-HH:MM:SS.sss (1000 分の 1 秒) フォーマットのいずれかで表示されます。コロン、ダッシュ、およびピリオドが必要です。LocalMktDate の対照となるものです。

付録：FIX メッセージタイプ

(このリストでは、すべての FIX メッセージタイプを掲載しています。OANDA fxTrade でサポートされているメッセージタイプは太字で記載してあります。)

- 0 = Heartbeat (ハートビート)** (FIX エンジン・ソフトウェアで自動処理されます)
- 1 = Test Request (テスト・リクエスト)
- 2 = Resend Request (再送リクエスト) (FIX エンジン・ソフトウェアで自動処理されます)
- 3 = **Reject (拒否)**
- 4 = Sequence Reset (シーケンス・リセット) (FIX エンジン・ソフトウェアで自動処理されます)
- 5 = **Logout (ログアウト)**
- 6 = Indication of Interest (売買意向情報)
- 7 = Advertisement (告知)
- 8 = **Execution Report (執行報告)**
- 9 = **Order Cancel Reject (注文キャンセル拒否)**
- A = **Logon (ログオン)**
- B = **News (ニュース)** (ログオン成功後、OANDA サーバによって送信されます)
- C = Email (E メール)
- D = **New Order - Single (新規注文 - シングル)**
- E = Order - List (注文 - リスト)
- F = **Order Cancel Request (注文キャンセル・リクエスト)**
- G = **Order Cancel/Replace Request (注文キャンセル/差替リクエスト、注文変更リクエスト)**
- H = **Order Status Request (注文状況リクエスト)**
- J = Allocation (配分)
- K = List Cancel Request (リストキャンセル・リクエスト)
- L = List Execute (リスト執行)
- M = List Status Request (リスト状況リクエスト)
- N = List Status (リスト状況)
- P = Allocation ACK (配分確認応答)
- Q = Don't Know Trade (DK) (執行拒否)
- R = Quote Request (見積リクエスト)
- S = Quote (見積)
- T = Settlement Instructions (決済指示)
- V = **Market Data Request (マーケットデータ・リクエスト)**
- W = **Market Data - Snapshot/Full Refresh (マーケットデータ - スナップショット/全更新)**
- X = **Market Data - Incremental Refresh (マーケットデータ - 増分更新)**
- Y = **Market Data Request Reject (マーケットデータ・リクエスト拒否)**
- Z = Quote Cancel (見積キャンセル)
- a = Quote Status Request (見積状況リクエスト)
- b = Quote Acknowledgement (見積確認)
- c = Security Definition Request (セキュリティ定義リクエスト)
- d = Security Definition (セキュリティ定義)
- e = Security Status Request (セキュリティ状況リクエスト)
- f = Security Status (セキュリティ状況)
- g = Trading Session Status Request (取引セッション状況リクエスト)
- h = Trading Session Status (取引セッション状況)
- i = Mass Quote (大量見積)
- j = **Business Message Reject (ビジネスメッセージ拒否)**
- k = Bid Request (Bid リクエスト)
- l = Bid Response (Bid レスポンス) (小文字の L)
- m = List Strike Price (行使価格情報)

補遺：法人のお客様向け追加機能

OANDA の法人のお客様は、OANDA FIX サーバの追加機能にアクセスできます。営業または顧客担当者が、お客様の FIX アクセスに以下の 1 つまたはそれ以上の機能が利用可能かをお知らせします。

即時約定注文タイプの制限

一部のクライアントは、即時約定通知を提供する以下の注文タイプに制限があります：

マーケットオーダー
FOK または IOC のリミットオーダー
FOK または IOC のストップオーダー

これらの注文タイプは、トランザクション・システムによって処理方法を受信します。より迅速なレスポンスタイムを要求するお客様に最適です。

変動する流動性

ユーザーには、Market Data Snapshot <W> および Incremental Refresh <X> メッセージ内の MDEntrySize <271> タグを確認するようお勧めします。この値は、表示されたシンボルの各取引で扱える最大数量を示しています。

この値は時折ゼロになり、執行可能な数量がないことを示します。取引可能な数量がゼロの時に出来る取引は、FOK/IOC 注文では OrdStatus <39> = CANCELED を受信し、その他の注文タイプでは拒否されます。

バリューデート

この機能は "Value Date" と呼ばれますが、"Settlement Date" と名付けられたタグを含みます。

一部のユーザーは、Market Data Snapshot<W> および Incremental Refresh <X> の両方で、FutSettDate <64> (FIX.4.2) / SettDate <64> (FIX.4.4) のタグを受信します。このタグの値は、LocalMktDate (ニューヨーク) 時間で、ユーザーが FIX メッセージの SendingTime <52> 値が示す時刻にこのシンボルで取引を行う場合に、プライム・ブローカーのユーザー口座でポジションが決済される時刻を示しています。

タグ <64> は、<W> または <X> メッセージには**通常有効なタグではありません**。そのため、クライアントの FIX エンジンには、<W> および <X> メッセージでこのタグを受け入れるよう修正しなければなりません。そうしないと、そのエンジンは構造検認の失敗のためにメッセージを拒否する可能性があります。タグ <64> のエンタリは、FIX データ辞書 (NoMDEntries グループ項目の一部) 内の <W> および <X> のタグ <287> のいずれかの任意のインスタンスの後に挿入されなければなりません。

| Market Data Snapshot / Full Refresh <W> -- フィールド | | | | |
|--|-----------------|-------------|--------|---------------------------------|
| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
| | Standard Header | Y | | スタンダード・ヘッダフィールド; MsgType = W |
| 262 | MDReqID | N | string | Market Data Request <V> の一意識別子 |

OANDA FIX 仕様説明書

| | | | | |
|-------|------------------|---|--------------|---|
| 55 | Symbol | Y | string | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペアでなければならない |
| 268 | NoMDEntries | Y | int | 続くエントリ数 |
| → 269 | MDEntryType | Y | char | マーケットデータ・エントリのタイプ。この繰り返しのグループ内の最初のフィールドでなければならない。 |
| → 270 | MDEntryPx | Y | price | マーケットデータ・エントリの値段 |
| → 271 | MDEntrySize | N | int | 取引可能ユニット数（最大取引サイズ） |
| → 272 | MDEntryDate | N | UTCDate | レートデータの UTC 日付 |
| → 273 | MDEntryTime | N | UTCTimeOnly | レートデータの UTC 時刻 |
| → 64 | SettlDate | N | LocalMktDate | ニューヨーク時間 |
| | Standard Trailer | Y | | スタンダード・トレーラフィールド |

| Market Data Incremental Refresh <X> -- フィールド | | | | |
|--|-----------------|----------|---------|--------------------------------|
| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
| | Standard Header | Y | | スタンダード・ヘッダフィールド; MsgType =X |
| 262 | MDReqID | N | String | Market Data Request <V> の一意識別子 |
| 268 | NoMDEntries | Y | Int | 続くエントリ数 |
| → 279 | MDUpdateAction | Y | char | この繰り返しのグループ内の最初のフィールドでなければならない |
| → 269 | MDEntryType | N | char | マーケットデータ・エントリのタイプ |
| → 55 | Symbol | Y | String | フォワードスラッシュを入れた有効な ISO 通貨ペア |
| → 270 | MDEntryPx | Y | price | Market Data エントリの値段 |
| → 271 | MDEntrySize | N | int | 取引可能ユニット数 (最大取引サイズ) |
| → 272 | MDEntryDate | N | UTCDate | レートデータの UTC 日付 |

| | | | | | |
|---|-----|------------------|---|--------------|---|
| → | 273 | MDEntryTime | N | UTCTimeOnly | レートデータの UTC 時刻 |
| → | 64 | SettlDate | N | LocalMktDate | ニューヨーク時間 |
| → | 58 | Text | N | String | このメッセージが複数のサブスクリプションからのマーケットデータを更新する場合、MDReqID を示す。 |
| | | Standard Trailer | Y | | スタンダード・トレーラフィールド |

プライム・ブローカーのユーザー口座でポジションが決済される LocalMktDate（ニューヨーク）時間を示すために、タグ <64> が Execution Report <8> メッセージに追加されます。

換算率報告

一部のユーザーは、取引が処理されるときに、ユーザーの口座に適用される概ねの基軸通貨換算率に関する情報を受信します。このレートは、基軸/建値で表示され、Bid（売り）／ Offer（買い）ペアとして提供されます。ここでの "基軸" は取引通貨口座を指し、"建値" は取引されるペアの建値通貨 ("CCY1/CCY2" の CCY2) を指します。

以下の場合には換算率情報は提供されません：

情報が確定できない
建値通貨が基軸通貨である（よって、換算率が 1.0）

| Execution Report <8> フィールド | | | | |
|----------------------------|----------------------|-------------|--------------|---------------------------------|
| タグ | フィールド名 | FIX で 必須 | タイプ | コメント |
| | Standard Header | Y | | スタンダード・ヘッダフィールド； MsgType = 8 |
| （通常の執行報告フィールド） | | | | |
| 20000 | ConversionRateSymbol | N | string | 基軸/建値で表示される通貨ペア |
| 20001 | ConversionRateBid | N | price | |
| 20002 | ConversionRateOffer | N | price | |
| 20003 | ConversionRateTime | N | UTCTimestamp | 概算の率のタイムスタンプ |
| | Standard Trailer | Y | | スタンダード・トレーラフィールド |

これらの換算率タグは、スタンダード FIX プロトコルのタグでないことにご注意ください。これらのタグは、未登録のユーザー定義タグの範囲で定義され、ユーザーの FIX エンジン Execution Report<8>メッセージ中のこれらのタグを受け入れるために修正されなければなりません。そうでなければ、エンジンは構造検証の失敗のために、メッセージを拒否する可能性があります。

免責事項

OANDA Japan 株式会社

関東財務局（金商）第 2137 号 一般社団法人金融先物取引業協会加入

店頭外国為替証拠金取引 (FX) は元本保証の金融商品ではありません。為替変動、金利変動等により、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。取引証拠金として、必要証拠金は想定元本の 4%（レバレッジ 25 倍）以上の金額が必要となります。法人の場合は 2%～1%（レバレッジ 50 倍～100 倍）の範囲で当社審査により決定します。取引レート及びスワップポイントには売値と買値の提示価格に差（スプレッド）が生じます。各通貨の金利変動により、スワップポイントが受取りから支払い等に転じることがあります。当社との契約形態は店頭外国為替証拠金取引となります。取引開始にあたっては契約締結前交付書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。